

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660



2002～2003年度
国際ロータリー第2660地区ガバナー

井上 暎夫

国際ロータリー第2660地区

2002～2003年度 地区大会特集



2003年5月9日(金) 10日(土)
大阪国際会議場

ホスト

千里ロータリークラブ

コホスト 吹田ロータリークラブ

吹田西ロータリークラブ

吹田江坂ロータリークラブ

千里メイプルロータリークラブ



目次

大会第1日プログラム	1
RI 会長メッセージ ビチャイ・ラタクル氏	2
開会挨拶	4
ガバナー挨拶	5
RI 会長代理挨拶	6
ガバナー補佐座談会	8
閉会挨拶	15
部門別懇談会	16
大会第2日プログラム	23
ガバナー挨拶・地区現況報告	24
RI 会長代理挨拶・RI 現況報告	28
国際大会報告・委員会報告	32
大会決議案上程・決議案	34

ガバナーエレクト・ガバナーノミニ―挨拶	36
次年度地区大会ホストクラブ会長挨拶	37
祝辞	38
記念シンポジウム	39
閉会挨拶	47
フォト・スケッチ	48
来賓	53
新世代合同会議メンバー	54
表彰	55
大会役員・大会委員会・大会実行委員会	58
物故会員	59
収支報告	60
編集後記	

大会第1日プログラム

平成15年5月9日(金)

大阪国際会議場 5 F メインホール

◆開会式◆

13:00 登録受付

13:30 開 会	司 会	井村卓治
	アシスタント	石田敦子 (毎日放送)

開会点鐘 ガバナー 井上暎夫

国家斉唱

ロータリーソング「我等の生業」斉唱

ソングリーダー 坂口治男

ピアノ伴奏 土井真弓

開会挨拶 大会委員長 近藤雅臣

来賓紹介 ガバナー 井上暎夫

ガバナー挨拶 ガバナー 井上暎夫

RI 会長代理挨拶

RI 会長代理 千 玄室

◆ガバナー補佐座談会◆

14:00 テーマ「変えたいロータリー」

座 長 バストガバナー 戸田 孝

アシスタント 前川瑠里

ガバナー補佐 八田昌三

橋本陽二

表 康之

横山守雄

豊島芳治

斎藤 満

石田清和喜

閉会挨拶 大会副委員長 藤井克彦

閉会点鐘 ガバナー 井上暎夫

15:30 休 憩

大阪国際会議場 10 F 会議室

◆部門別懇談会◆

16:00 テーマ

「変えてはならないロータリー」

基本スケジュール

1) 紹介と実施要領説明

2) 地区委員会の報告等

3) グループワーク

「明日へのメッセージ・100字
変えてはならないロータリー」

4) 発表会

会長部門

幹事部門

職業奉仕部門

社会奉仕部門

国際奉仕部門

ロータリー財団部門

フレッシュメンバー部門

17:30 閉 会

リーガロイヤルホテル「ロイヤルホール」

◆家族のつどい◆

15:30 登録受付

16:00 開 会

オペラ歌手

栢本 淑子によるコンサート

「歌の国イタリアの名歌と
日本の懐かしい歌」

17:15 閉 会

リーガロイヤルホテル「光琳の間」

◆RI 会長代理歓迎晩餐会◆

17:45 登録受付

18:15 入 場

18:30 開 宴

エンタテイメント第1部

女声合唱団 Primavera コーラス
(ミュージカルより)

エンタテイメント第2部

女声合唱団 Primavera コーラス (唱歌より)

エンタテイメント第3部

大阪スクールオブミュージックビッグバンド

20:30 閉 宴





Dear Rotary Friends
and Guests attending
the District 2660 Conference,

RI会長

Bhichai Rattakul

Charoye and I send our warmest greetings to each and every one of you attending this 2002-2003 District Conference. We wish to express our great appreciation for the dedication and hard work of Govenor Teruo Inoue who, along with the conference committee, have put together a comprehensive programe of Rotary information,fun and fellowship. We hope that you will take this opportunity to make new freinds, renew friendship with previous acquaintances, and above all broaden your Rotary horizons with an increased understanding of true Rotary service.

As there are over 500 district conferences taking place around the world, you will please understand that it is humanly impossible for Charoye and me to visit all of the conferences taking place this year, although we would very much love to. I have, therefore, invited an outstanding Rotarian to represent me at your conference. Kindly welcome Past RI Director Genshitsu Sen as our representative. I know you will enjoy his company and his inspiring messages during the conference. I have asked Genshitsu to share with you my special concerns as we together **Sow the Seeds of Love** in our club, vocation, community and our world.

With kindest regards and best wishes,

Your sincerely,

Bhichai Rattakul
President, 2002-03

第2660地区 地区大会にご出席の 親愛なるロータリアンそしてゲストの皆様

2002 - 2003 年度地区大会にご出席の皆様へ、妻であるチャロエとともに心からのご挨拶を申し上げます。大会委員とともにこの地区大会におけるロータリーの情報提供や楽しいイベント、親睦などの広範囲なプログラムを取りまとめられた井上暎夫ガバナーのご尽力とご努力に対し、深く感謝の意を表します。この機会に新しい友人を作り、また旧知との友好を再確認していただき、さらには本来のロータリーの奉仕についての理解を深め、ロータリーの輪を広めていただきたいと思います。

世界中で500以上の地区大会が行われており、チャロエも私も本年行われるすべての地区大会に是非出席したいのですが、誠に残念ながら不可能であるのご理解いただけることと存じます。従いまして、貴地区大会には、私の代理たるロータリアンに出席願うことと致しました。我々を代表してパストRI理事である千玄室氏をお迎えください。千氏の来訪と彼の啓発的なメッセージが、大会を大いに盛り上げることと存じます。我々がクラブ、職場、地域社会そして世界でともに慈愛の種を播きましようという私の特別の思いを皆様と共有するよう千玄室氏に託します。

RI 会長
ビチャイ・ラタクル

Bhichai Rattakul 氏 プロフィール

ビチャイ・ラタクル氏は、バンコクのラムカムヘン大学ならびにカリフォルニア州のケンジントン大学で政治学の名誉博士号を取得しました。

1969年よりタイ議会の議員として、外務大臣、副首相、下院の議員および委員長を歴任しています。ラタクル氏は、国際協力タイ親善代表です。

ラタクル氏は、ボーイスカウトタイ連盟の名誉副会長でもあり、対汚職委員会、麻薬取締委員会、全国監査委員会、および第13回アジア・オリンピック組織委員会の委員長を務めました。

そして、これまでにタイの国王から最高位の栄誉、日本の天皇、フィリピン、韓国、オーストリア、およびニカラグアの大統領から数々の勲章を受賞しています。

1958年にトンブリ・ロータリー・クラブの創立会員になって以来、地区ガバナー、国際協議会討論リーダー、財団管理委員、国際ロータリーの執行委員会委員長を務めてきました。またロータリー財団の功労表彰と特別功労賞を受賞しています。



大会委員長

2004年国際大会に向け、 実りある地区大会に

近藤 雅臣

五月晴れの下、第2660地区の地区大会を迎えることができました。皆さんご参加ありがとうございます。

当地区大会におきましては、ピチャイ・ラタクルRI会長のお代理としまして、千玄室RI元理事にご出席を頂いております。お忙しいところを本当にありがとうございました。また同時にRIの理事の板橋先生、菅生先生お2人のご出席を賜りました。心から感謝申し上げたいと思います。

今年度、ピチャイ・ラタクル会長は「慈愛の種を播きましょう」というスローガンを掲げておられます。皆さんご承知のように、種というのはある程度の環境があれば、放っておいても芽を出すことはできます。芽を出す力は、種の中に蓄えているわけです。

しかし、その後、花が咲き、実を実らすための栄養分というのは、当初は全く持っていないわけです。従って、いくら種を蒔いても、発芽はするけれどもその後は、放っておいたら成長できないのです。

世界中いろいろな所に種を播き、発芽したとしても、花咲き、実を実らす努力をしない限り、何もならないということを私たちロータリアンは自覚すべきであり、ラタクル会長もその事をおっしゃっているのではないのでしょうか。

慈愛の種だけではありません。育てて行くという努力を私たちは、しっかりと心に決めていかなければならないと思っております。今年度の地区大会のテーマとして、井上ガバナーはいろいろと考えられた末、ロータリーの基本に戻ろう、そして続けていっていいこと、やめなけ

ればならないことをしっかり分けて、本来のロータリーの真髄をこの地区大会を機に改めて考えなおし、実行していこうと考えられました。私ども委員会も、その趣旨に沿うようなプログラムを組んでおります。

さて、千玄室大宗匠にご出席頂いておりますけれども、私はこのご出席は、単なる会長代理としてだけではないと感じています。といいますのは、千元理事は、RI2004年国際大会の委員長としてご尽力を頂いております。そしてその2004年の国際大会は、私ども第2660地区の大阪を含めて、4地区で共同運営していくという大きな事業として控えております。

千元理事は、来るべき国際大会の委員長として、私たちを励まして下さるために、ご出席頂いたと考えている次第です。また、それに対して私たちも応えて行かなくてはならないと決意を新たにしている次第です。

そういう意味で、今年は地区大会が秋にもう1度ございます。今回の地区大会をまず次年度の国際大会への糸口にして、次期の若林エレクトの地区大会で盛り上げ、そして素晴らしい力を持って国際大会に臨んで行くという、この繋がりを何とか大切にしたいと思っている次第です。

この2日間、私どもの地区大会が素晴らしく、実りの多いものであるように、いやむしろ、私たち全員で実りあるものに作り上げて行きたいと思っておりますので、どうか協力をして頂き、素晴らしい地区大会ができたという満足感を得られるようなものにして行きたいと思っております。

新世代に引き継ぐための改革とは

井上 暎夫

ガバナー



開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

本年、私が敬愛するビチャイ・ラタクルRI会長の代理といたしまして、千玄室様をお迎えし、本日地区大会を開催できましたことを、心より感謝申し上げます。

先ほど大会委員長のご挨拶の中にありましたように、千氏はかつてRIの理事、財団のトラスティをお務めになられ、また来年の国際大会の大会委員長をお務めでございます。この機会に親しくご指導を賜りまして、開催地という名誉を担いましたこの第2660地区大会を成功させ、会員一同の心を1つにいたしまして、来年に繋げたいと切に願っております。

また私がガバナーをお引き受けすることにより、わずか5年目にして再びこの地区大会のホストを頂きました、わが千里ロータリークラブの皆様方、また同じように再びコホストを務めて頂きます吹田西、吹田江坂の各ロータリーク

ラブ、そして新たにコホストをお願いいたしました吹田、千里メイブルの各ロータリークラブの皆様方、本当にご苦勞様です。心より感謝を申し上げる次第でございます。

ロータリーは2005年に100周年を迎えます。「時代と共に、ロータリーは改革されなければならない。そうでなければ、ロータリーは長続きしない」、これは創始者ポール・ハリスの示唆された言葉です。しかし、ロータリーと呼べないような変革は許されるのでしょうか。ロータリーが、他の団体に埋没されて良いのでしょうか。

100周年というこの大きな区切りに際し、この地区大会のテーマを「新世代に引き継ぐ奉仕の理想」といたしました。さらに“変えたいロータリー”と“変えてはならないロータリー”を今1度検証して、私たちは次世代の皆さん方に引き継ぎの準備をしなければなりません。今日はこのことを考える1日となればと願っております。

地区大会テーマ

「新世代に引き継ぐ奉仕の理想」

ロータリーの綱領 (object of Rotary) の公式訳文には、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し…と書かれています。『ロータリーの目的は有益な企業の根底にサービスの理想を培うに至る』とされた塚本PGの訳が分かりやすいと思います。

日本ではserviceを奉仕と訳しましたが、日本にロータリーを持ち込まれた米山梅吉氏はこれを訳さずサービスとっておられます。ロータリーでは奉仕をボランティアやチャリティーと同意語とはとらえておりません。

営生RI理事は、自己及び自己の職業や社会活動を通じて、他人の為に提供して行くという基本的な責務を自覚して、その努力をするという考え方がサービスの理念 (ideal) とされました。

戸田PGは「他人の事を思いやり、他人のお役に立つ行いをしようとする心」と書かれました。ロータリー創立100年を迎えるに際し、私たちは今、新世代にこの『奉仕の理想』を引き継ぐ準備を始めようではありませんか。



RI会長代理

未来に対しロータリアンの夢を実現させるスタートに

千 玄 室

皆さまこんにちは。今日のこの大会をご主催になります井上暎夫ガバナー、大会の実行委員長近藤雅臣パストガバナー、そしてホストクラブの岩崎会長、本当に今日は皆様方のお力でこうした立派な大会が開催されようとしています。まことに心から嬉しく存じております。おめでとうございます。

大変お忙しい中にも、こうしてわざわざ板橋敏雄理事ご夫妻、また当地区から選出されました菅生浩三理事ご夫妻はじめ、ガバナーの皆様方ご夫妻、そしてまたパストガバナーのご夫妻の皆様、米山記念奨学会の島津久厚理事長はじめ、私のエイドをして頂きます吉川謹司パストガバナーご夫妻、それぞれ皆様方が一生懸命お努め頂き、またお揃いでご出席を頂いておりますことを、大変心強く存ずる次第です。皆様方の誠意あるお心に対して、敬服を致します。

地区大会には、いろいろな意味が含まれております。ご承知のようにその地区内外のロータリアンが一堂に集まり、共に手を携えてロータリーの現在のあり方、また未来の姿について語り合う、そして、できる限り自分の善意ある心をお互いに交換し合う。それにより、素晴らしい友情の輪が広がると共に、また善意ある奉仕の心が大きく高揚されるということです。この大会に参加して頂くということ自体が、大変意味深いことであるということを、皆様ご承知だと思いますが、もう1度ご確認を頂きたいと思うのです。

ポール・ハリスが申しました。「ロータリーを通じて善意ある姿を学んでこそ、それが自分にとって大きな心の変化になる」と。私はこれを素晴らしい言葉だと思っております。心の中の変化、すなわちロータリーに入る前の自分と、ロータリアンになってからの自分というものの違いが、数多くの例会、あるいはいろいろな催しに参加されることによって、だんだんと洗練され、また、ロータリーに対する志というものも変化していくわけです。

先ほどの近藤委員長からの本当に誠意あるお話、ご挨拶、また井上ガバナーのご挨拶にもありましたように、世界のロータリアンが集う大会が、いよいよ日本では27年ぶりに開催されます。来年2004年5月22日の前夜祭を皮切りに、26日までこの大阪を中心とした関西圏で開催されることになりました。

ビチャイ・ラタクル会長は、本来ならばこの地区大会に自らご出席になり、「慈愛の種を播きましょう」の願いのもと、1粒の種が世界に向けて、素晴らしい実りを見せるようにという気持ちでご挨拶をされるべきところです。しかし、何分にも世界各国のいろいろな情勢、またご自身がなさらなければならないロータリーに対する開発プロジェクト、そういった処理の為に、エバンストンを離れることができません。また、本年度の世界大会、オーストラリアのブリスベンで開催されます大会もいよいよ間近に迫ってまいりました。

千 玄室氏 プロフィール

最終学歴

1946年 9月 同志社大学法学部卒業

1952年 12月 ハワイ大学修学

学 位

1991年 11月 中国南開大学哲学博士（国務院）

職 業

- ・千利休居士15代茶道裏千家今日庵家元（前）
- ・社団法人 茶道裏千家淡交会名誉会長
- ・ハワイ大学歴史学部教授
- ・京都市国際交流協会理事長
- ・平安建都1200年記念協会会長
- ・京都商工会議所顧問
- ・天津商科大学裏千家短期大学学長
- ・京都市生涯学習総合センター所長
- ・日本国際連合協会会長並びに京都本部長
- ・ペルー共和国名誉領事

表 彰

- 1989年 文化功労者国家顕彰
- 1993年 NHK放送文化賞
- 1994年 勲二等旭日重光章受章
- 1997年 文化勲章受章
- 1998年 フランス共和国レジオン・ドヌール勲章オフィシェ受章
- 1998年 京都市名誉市民顕彰

国際ロータリー歴（茶道）

- 1954年 京都市南ロータリークラブ創立会員
- 1965年 京都ロータリークラブへ移籍
- 1972～1973年 京都ロータリークラブ会長
- 1975～1976年 国際ロータリー第2650地区ガバナー
- 1988～1990年 国際ロータリー理事
- 1992～1994年 国際ロータリー会長インフォメーションカウンセラー
- 1994～1996年 国際ロータリーアジア地域大会執行委員
- 1998～2002年 ロータリー財団管理委員
- 2002～2004年 2004年国際大会RI委員会委員長
- 2002～2004年 ポリオ撲滅募金キャンペーン委員会委員並びに日本委員長
- 2003年～ 国際ロータリー日本財団会長
- 1976年以降 国際ロータリー会長代理（20数回）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 ロータリー財団特別功労者
 ベネファクター
 米山功労者

生年月日

1923年（大正12年）4月19日

私は会長から「ぜひこの地区大会に出席して、出席者の皆様方に、そして今日、明日はいろいろなお仕事のご都合で出席できない方々に対して、ご出席になった方々からロータリーの意義、そして2004年の世界大会に対する大きなご協力を頂くようお願いをしてきなさい」という、ご指示を頂きましたので、この地区大会に会長代理としてうかがうことができました。

しかも私は、2004年の世界大会の大会委員長という要職、重職を頂いております。その準備も多難でありますけれども、こうして今日、明日とお務めさせていただくことができますことを、大変誇りに思い、また有難き機会を頂戴したと思っております。

田中作次理事エレクトもご夫妻でお見えになっていますが、この田中理事が出現されます時は、ちょうど国際ロータリーが100年という素晴らしい時期を迎える2005年でございます。この2005年に向かって、国際ロータリーは新しい出発をしようという意気込みで、今いろいろなプロジェクトを組んでおります。その前年度の2004年に、大阪で世界大会を開催することは、未来に対するロータリアンの夢を何とか実現させるためのスタートでなければならないと思うのであります。

2日間ではありますが、いろいろなことを充分意見討議をして頂き、近藤大会委員長、そして井上ガバナー、また幸い板橋、菅生両理事、並びに田中理事エレクトがいらっしゃいますから、どうぞ忌憚なく皆さま方、いろいろな事をお話頂きたいと思っております。そして皆さま方がRCに持ち帰り、我々日本のロータリアン1人ひとりの気持ちがこういうものであるということ、届けて頂くような大会でありますように、心からお祈り申し上げます。

変えたい



ガバナー補佐座談会出席者

座長 パストガバナー 戸田 孝
アシスタント 前川瑠里
(吹田ローターアクトクラブ)

ガバナー補佐

- IM 第1組 八田昌三
(豊中南ロータリークラブ)
第2組 橋本陽二
(茨木ロータリークラブ)
第4組 表 康之
(東大阪東ロータリークラブ)
第5組 横山守雄
(大阪中央ロータリークラブ)
第6組 豊島芳治
(大阪東淀ロータリークラブ)
第7組 斎藤 満
(大阪船場ロータリークラブ)
第8組 石田清和喜
(大阪住吉ロータリークラブ)

※IM 第3組寝屋川ロータリークラブ、吉川稔様は褒章受章のため上京されご欠席です。

戸田 国際ロータリーのリーダーシッププランに基づき、本年度、当地区にガバナー補佐が誕生いたしました。ガバナー補佐の皆さんと共に、「変えたいロータリー」というテーマのもと、座談会を開催したいと思います。まずガバナー補佐をされた感想、自分が感じたこと、経験などからお話頂きたいと思います。

八田 ガバナー補佐というのは、クラブの会長とガバナー間の連絡役と思っていたのですが、ガバナーが今までやっておられたクラブ協議会



パストガバナー・戸田孝氏(八尾RC)が座長を務めた

を担当しろと言われてまして、非常に戸惑いました。自分の知っている範囲で何とか汗をかきながらやっとな、こういう心境です。

ガバナー公式訪問のクラブ協議会をやるだけでは意味がないと思ひまして、私はまず、担当クラブの新年度の方針をお聞きしたいと思ひ、初年度の第1アッセンブリーに全部出席しようということでやらせて頂きました

橋本 実は私はこういうことは不得手でして、自分のできる範囲でやらせて頂きました。ガバナー補佐というのは、やればいくらでも仕事がある、やらなければあまり仕事しなくてもいい

ロータリー



という面があります。しかし、これからはやはり適任者を選んで頂いて、ガバナーのためにきめ細かい環境作りをされるのが、クラブの発展のためになるのではないかと痛感した次第です。

表 私も最初、この話を承った時は、ガバナー補佐の制度も、どういう仕事をするのかという役割も全く無知で、白紙の状態を受けさせて頂きました。皆さんと共に勉強していったわけですが、前例がないということは、ある意味では自分の意思で形を作って行ける利点があります。私なりの方策として、各クラブの協議会に出席する前に、クラブの会長さんと幹事さんにお会いし、クラブの内容や活動の実態、悩みや要望等を細かく聞き取り、それを予備知識として出席しました。

*

戸田 ここでちょっと一言。「笑いが健康な脳を作る、頭を作る」と言います。笑うと頸動脈が膨れて、顔の筋肉が運動して血液が流れ、頭が良くなるそうです。笑いと発想の関連性はすでに医学的に証明されているそうですから、ガバナー補佐のちょっとおもしろい話がありましたら、大いに笑って頂きたい。笑うことで、カ

バナー補佐を勇気づけて頂きたい、こんなふうに思います。

横山 13クラブを巡回致しまして、各クラブにはいろいろな違った問題が混在しているということが分かりました。大きく2つの問題に集約され、1つは会員増強が難しく、減少しているクラブが多いという点。2つめは、意義ある奉仕プロジェクトというものが少ないことを感じました。

経済情勢の悪さが、会員増強の難しさや活動の低下ということを招いているとは思います。バブル経済の頃、若い方は「3K」、汚いとか危険であるとかの職場に集まらないと言われていました。今私はロータリーにも、3Kの問題があるのではないかと思います。高コストのK、高齢化のK、ロータリー活動の硬直化のKであると。この問題を解決して行かないと、明日の発展は期待できないのではないかと感じました。

豊島 私はこのガバナー補佐の中で最年長者です。この8組の中で1番最後に決まったのが6組でして、なぜ遅れたかと言いますと、家内が「あんたみたいな話の下手くそな人間が…」と大反対をしたからです。私は26歳から八卦の



八田 昌三氏

ロータリアンの 原点はまず出席

勉強をしていますので、八卦を立てましたら、大事な節目に当たるということで、引き受けたような次第でございます。

担当の12クラブを回ったのですが、それぞれ個性がありました。大阪城RCでは例会の前にワインが出まして、例会の最中もワインを飲んでいいのです。ほかに城北川へ稚魚を放流しておるとか、尺八クラブがあるとか…。

齋藤 私も各クラブの会長、幹事さんとクラブ協議会の進め方について、あらかじめ相談させて頂きました。その時に、新しい活動計画書と、前年度の活動報告書を資料として頂きました。今日はその中で大阪西南RC活動報告書についてお話をさせて頂きます。

1 昨年、東京の神田で、酔っぱらいがプラットホームから落ちて、韓国人の留学生がそれを助けたために一命を落としたという事件がありました。当時、クラブの会長はその話に非常に感動され、姉妹クラブの北釜山RCに、何らかの形でその学生宅に敬意を表したいと伝えたところ、先方も非常に感心し、その3660地区のガバナーと北釜山RCの会長、その他10数名の方が学生のお家を訪問し、西南RCから差し上げた贈り物を添えて、気持を先方に伝えたということです。そのお話から、ロータリーは実践であるということを痛感した次第です。

*

戸田 いいお話をありがとうございました。

石田 私もガバナー補佐のご指名に躊躇しましたが、いろいろ勉強させて頂いたこと、会長幹事様をはじめ、多くのロータリアンの方々と知

り合いになれたことが貴重な体験になりました。

クラブ訪問では、ホームクラブの例会欠席が多いのが気になりました。また、クラブによってロータリー情報が伝達されていなかったり、クラブ活動計画報告書やクラブ週報の扱い方も様々で、多様化されているのを実感しました。

確か、咲洲クラブの卓話の時間でしたか、ロータリーソングの「日も風も星も」の発声練習をしました。女性会員の音大の先生から「背筋を伸ばして、お腹から発声しなさい」など、ある程度専門的に歌えるまで何回も教えられました。卓話もいろいろございますが、これが今風のロータリーの姿ではないかと感じた次第です。例会が会員のためになり、楽しければ、出席も良くなるのではと、ちょっとした風景をご紹介申し上げました。

*

戸田 横山さんの言われた3Kについて、私もちょっと他の3Kがあります。65歳を過ぎますと定年の年齢であり、その頃に必要な3Kとして、第1は健康、第2のKは、少々のお金、第3のKは人間関係の関係であります。人間関係というのは、なかなか創りにくいと言われます。私はRCに入って42年目でございますが、年齢をとっても人間関係が素晴らしいことを添えさせてください。

八田 私が1番気になったのは、会員の減少が非常に大きいこと、そして、出席の悪さです。この地区でも5年前に比べましたら、出席率の平均が5.4%ほど落ちています。昨年度は90%位だったのが、去年の11月頃には88%になっています。

出席がロータリアンの1番の原点であって、定款の8条にも出席の中の第1節冒頭に、「本クラブの会員は例会に出席すべきものとする」とあります。この点をどうしたらいいのかが、あまりディスカッションされていないように思う。「変えてはならないロータリー」というのは、この定款のそのものを守ることから始

若い人のエネルギーが必要

横山 守雄氏



テルではなく商工会議所です。古い会員さんも新しい会員さんも全てイス、テーブルを自ら設営されている。私の場合は、ホテルでやっていますのでホテルでお任せということですが、そういう点についても非常に感銘した次第でございます。

*

戸田 お褒め頂きありがとうございます。

横山 高コストの問題ですが、デフレ経済が長年続いている中で、入会金、年会費などはバブル時代以降、あまり下がっていない。各種の寄付金や会合費などを合算しますと、皆さんは年会費の倍ほどのコストをロータリーにつき込んでいらっしゃる状況かと思います。

当地区には86クラブございますが、会員数50名以下のクラブが52あります。小さなクラブが、一流ホテルで運営を行うのは非常にコスト的に厳しいわけです。入会してもらいたい若い方は、コストが高いので入会できない。ですから、第2のKの高齢化が年々進んでおりまして、現在平均年齢が63歳、64歳というクラブがだんだんと増えつつあります。その結果、ロータリーでは自ら汗を流しなさいと言われるわけですが、65歳以上のメンバーにはなかなか難しい。汗を流す奉仕団体であり続けるためにも、若い方のエネルギーが必要かと思います。

豊島 私の与えられたテーマは「阪神大震災に関して奉仕を実践した事例について」ということです。ずっと調べてみたのですが、大阪大手前RCが、阪神大震災の震災孤児の里親を6年間続けていらっしゃるそうです。本当になかな

めて行かなくてはならないとつくづくそう思いました。

橋本 担当クラブの中で地域に非常に貢献されているのが吹田西RCです。「あるRCの小さな試み」ということで、今年のIMでも発表があったわけですが、ロータリアン自身が職場を提供し、地域の学生などを実務に携わらせて、働く社会人の立場や社会にどう貢献するのかを体験させた。労働を通じて親の立場を子どもさんがよく理解され、親子の対話ができるようになったという事例も多々ありました。小さな活動ではありますが、大きな試みだったと私も感銘を受けた次第です。

表 私は古い会員と新しい会員とがとてもうまくいっているクラブ、その秘訣について、お話させて頂きたいと思います。本日座長を務めていらっしゃる戸田パストガバナーの八尾RCは、まさに歴史と伝統のあるクラブです。パストガバナー、並びにチャーターメンバーが健在で、古い会員がたくさんおられます。この古い会員が新しい会員に対して、ロータリーの基本的な理念や理想などについて、理解を深めるようにあらゆる機会を捉えて、学びの場を作っておられる。トップダウンではなく、共に謙虚に勉強していこうという姿勢の表れだと感じました。さらに具体的な奉仕の実践にうまく連結されていることも、私の感動した点です。

また運営に関しても、バランスのとれたクラブを目指しておられる。八尾RCの会場は、ホ



豊島 芳治氏

里親6年・継続
することは大変



橋本 陽二氏

無理な増員より 新人の発掘を

か継続することは大変なことだと思っております。

斎藤 「会員の負担を軽くする努力をしているクラブの例」が、私に与えられたテーマですから、先ほど横山ガバナー補佐と同じ問題を取り上げます。日本経済の体質がすっかり変わった現在、入会金や年会費、その他の負担がこのままでいいのだろうかという疑問です。

入会金については、既に引き下げられた例があり、大阪南RCは15万円を10万円にされました。他のクラブでも引き下げを検討している例を聞いています。年会費につきましてはまだ具体的にそういうところまでは至っていません。各クラブで財政事情を考えながら、慎重に継続して検討して行くべき問題であると思います。

石田 クラブ例会の活性化実現の一環として、プログラムを検討し卓話を変えて行くように提案したいと思います。クラブ例会に出席する意義は、例会時間に相当する以上の利益を習得できる中味にあるのではないかと考えます。具体的提案として、卓話という貴重な舞台を変える工夫が必要だと考えます。1例ですが、講演パターンの他に、爽やかな面白さをつけ加えて、そういう雰囲気のパログラムを提案します。

＊

戸田 こんな話がございます。二子山親方に聞いた話ですが、幕内の力士が三役になりますとワッと太るそうです。なぜ太るのかと言いますと、自信がついてくるからだそうです。若い者を育てるには誉めることが必要です。ロータリアンも同様で、「よく勉強して素晴らしい奉

仕をした、立派なロータリアンだ」、そういう元気付けを年配のロータリアンが若い人にするのが大切ですね。そろそろ終盤ですから、良い結論を出して頂きましょう。

八田 何度も出席にこだわっていますが、IMの出席を集計してみましたら、7つの組の平均が40%です。1番いい組が68%、悪い所は20%と2割なんですね。かつては平均が50は超えて60ぐらいあった。例会の出席も含めて変えて行かなければいけない問題です。

これから入ってこられる会員をどうするのか。ただやみくもに入ってくれということが、果たして正しいかどうかを考えないと、これからはますますクラブが活性化しないと私は思います。

＊

戸田 それを何とか変えて行かなければいけないですね。

橋本 私自身、このロータリー活動を通じて、奉仕というものを自己の研鑽というふうに捉え、自分を磨くことを一生懸命やったりもしています。しかし、頭ばかり光りまして人格はまだまだ光りません。まだまだ努力しないとけないと思うのです。そういうことで「変えたいロータリー」とは、自分自身をまず変えることが大事だろうと思います。自分が反省をこめて変わると、変えるべきところを変えることができる、そういう理想を持っております。私は無理な増員よりも、埋もれた人材を発掘して行くべきだと思います。

表 「変えたいロータリー」は、考えるほどに難しいテーマです。先ほど橋本さんも自己を変えたとおっしゃいましたが、まさに意識を変えるしかないという結論に私も達したわけです。

そして、例会を変えなくてはいけない。どのように変えていくか、3点ほどあります。第1点は卓話の充実。出席して良かった、あるいはまた出席したいと思える卓話プログラムを組んで頂きたい。これも八尾RCの事例ですが、3分間卓話というのをやっておられる。非常にこ



齋藤 満氏

コミュニケーション 向上が大切

れは良かったですね。ぜひ皆さんの例会でも採用されたらと思います。そして、ロータリーはお金を出すだけではなく、汗と知恵も出して大いに頑張ってもらいたいと、このように考えております。

横山 現在、直面しております問題点を先送り、放置せず、何とか1つひとつ解決していかないことには、事態はますます悪化していくのではないのでしょうか。高コスト解決の選択肢の1つとしまして、クラブの統廃合という考え方が、すでに幾つかのクラブから出ています。この問題は地区レベルで指針を作り、対応を検討するような時期に入ったのではないのでしょうか。

RAはすでに、既存の定款細則に全くとらわれないフリーなクラブを世界的規模で試しております。どうしても守って行かなければいけない原理原則はありますが、世界のトレンドは、その地区、クラブの実態、そして社会情勢に合った運営を認めて行こうとする傾向にあるのではないかと思います。

小泉首相は自民党をぶっ潰すつもりで改革を進めるとおっしゃいました。ロータリーもやはり、抵抗勢力を潰すぐらいのつもりで問題点を確実に改革していかなければ、明日の発展は期待できないのではないかと考えています。

*

戸田 大変斬新な提言をありがとうございました。

豊島 ロータリークラブというのはアメリカか



石田清和喜氏

クラブ週報を 柔軟に活用

ら発生したわけですが、いわゆる皆一神教なのですね。コーランにしても、ユダヤ教にしても、いわゆる砂漠の中で生まれた宗教です。ところが日本は先祖崇拜といいますか、神仏混合の97%が仏教徒です。ビチャイ・ラタクルさんも仏教徒ですので、それで「慈愛の種を播きましょう」というスローガンをお作りになったというふうに聞いております。

齋藤 「変えたいロータリー」で、比較的簡単に変えられることは、クラブ内のコミュニケーションを良くすることです。例えば、ロータリー財団のポリオ撲滅募金活動に関連し、集められた募金額や使い道の説明がないとか、ポリオは絶滅したのではないかというような意見が何度も聞かれました。

この点を井上ガバナーにうかがいますと、地区でロータリー財団の委員長を集めた会合があった時には、必ず資料を渡して経緯について説明しているとのこと。募金だけでなく、2001年の規定審議会によるロータリークラブの定款細則の改定も、重要なことであるにもかかわらず良く理解されておられません。各クラブでコミュニケーションを良くし、全員に対する周知徹底を図ることを実行して頂きたいと思います。

*

戸田 クラブ内のコミュニケーション、非常に大切です。何とかしてこれを実現して行くための方策を考えねばなりませんね。

石田 齋藤さんが今おっしゃったように、地区とクラブとのコミュニケーションに少し時間的なズレがあるようです。その理由は、説明不足



表 康之氏

混迷の世の中に インパクトを

や報告の怠慢などクラブ側の対応にも問題があるのではないかと。そこで具体的提案として、クラブ週報をもっともっと活用することを提案したいと思います。週1回必ず目を通すクラブ週報を柔軟的に活用すれば、ロータリー情報が早く周知できるのではないかと思います。

横山 先ほど3番目のKを申し上げなかったのですが、これは活動の硬直化です。各クラブの活動は、長年ワンパターンの連続になりがちです。今後は、これが本当にロータリークラブかなという発想方法でクラブ活動を進めるというのも1つの考え方ではないでしょうか。

表 少し堅い話になりますが、とにかく現在は、日本が危機に瀕していると言っても過言ではありません。特に職業倫理が各界、各層、非常に低下しているのが現状です。そこで職業奉仕の理念にもっと関心を持って頂き、職業奉仕活動を真剣に考えてみる時期ではないかと思えます。この混迷している世の中に、何か大きなインパクトを与えるのも我々の役目ではないか、このように考えるわけです。だれのためにロータリーがあるのか、今1度この点を見つめ直し、1人ひとりの意識改革なくしては、できないと思っております。

*

戸田 皆さんありがとうございます。私にも少しお時間を頂くことをお許しください。

私のクラブの会員が増えているのは、若い人の人脈が大きな力を発揮しているからです。若い会員の意識を高めて、増強するための方向性を定めてあげると、相当の会員増強ができるは

ずです。さらに退会する人も少ない。私のクラブでは、古い会員と新しい会員が席を並べ楽しく話をします。また、70歳以上と3年未満の会員がメンバーの「みなわ会」を結成し会食をしています。ビールを飲むと本音でいろんな事を聞いてくる。「入ったけれどロータリーって何ですか」「目指すものは何ですか」「どんなことをしているのですか」。そこで私が感じたのは、地区の委員会が協力して分かりやすい資料を作らなければいけないこと。若い人に説明できる資料が必要で、ぜひ、今年度はやって行かねばならないと思っています。

増強するための基本は、クラブが非常に楽しく、明るい雰囲気になることです。それが新会員を入会させる1番大きな原動力です。ポール・ハリスさんは、1番大切なのは寛容、つまり忍耐である、そして善意であると言っておりますね。これは民主主義そのものです。協調することによって人々は生き生きとする。協調というのは、人間を結ぶ輪です。

奉仕活動では、ロータリアンに感動を与えるような活動を考えたい。1981年、私がガバナーノミニーの時に、豊中大阪国際空港RCが地域の身体障害の人、あるいは孤児の人を招待し、白浜の一流旅館でお世話をするという奉仕に私も参加しました。全クラブがその後呼びかけに乗り、1986年の記録では、障害児や孤児、先生、交換学生や奨学生、ロータリアンの総勢344名が参加したそうです。別れ際「おじちゃんありがとう」と言って子どもたちが涙を流す。お世話をしたロータリアンも涙を流す。その感動を共有しているメンバーがうちの地区では相当おります。

今は、登校拒否の小中学生、新任の先生、ロータリアンが集まって三重県の曽爾高原で2泊3日の研修をやっていますが、これも感動的な体験です。こんな奉仕があると、例会に出なければ、何か忘れ物をしたという気持ちになるわけです。

今は「誇り」を失っているのが問題だと思い

協調で人々は 生き生きする

戸田 孝氏



ます。ロータリーは多くの奉仕の実績を重ねてきました。1985年から2005年、世界のポリオと感染症を無くそうというポリオのワクチンは20億人に投与が済み、ほぼ制圧に成功した。またロータリー財団奨学生、米山奨学生という素晴らしい制度があります。日本で第2番目に出たロータリー財団の奨学生が、国連難民高等弁務官をされた緒方貞子さんです。あんな素晴らしい人を、皆さんの手で世界に送り出しているわけですね。

3人目に出られた方が宮野誠治さんです。この方は福岡大学の学長をされまして、あるクラブでの卓話が「ロータリーの友」に載っています。「私どもは提供した労働や技術に対して、正当な報酬を要求する。それは当然のことで、近代社会はこの契約で成り立っているのである。しかし一方で無償の行為の尊さがどれほど人々を勇気づけ、励まし奮い立たせ、世界を動かしてきたかということを決して忘れてはなら

ないと思う。私がロータリーとロータリアンを素晴らしいと思うのは、この点である」と。千玄室さんもガバナー時代に「ロータリアンは奉仕活動が続けるが、実はそのお返しは百倍、千倍にもなって世の中を潤しているのである。その精神が続く限り、ロータリーは永遠に人々に訴え続けるであろう」、こう言っておられる。こんな素晴らしいことをやっていることに勇氣、元氣、自信を持っていただきたい。皆さん、ありがとうございました。

スピードを加えロータリーを活性化

閉会挨拶

大会副委員長
藤井 克彦

本日は戸田パストガバナーの司会により、大変実のある座談会を開催させて頂きました。

ガバナー補佐の皆さんから、大変具体的な「変えたいロータリー」の提案をたくさん頂きました。ガバナー補佐の皆さんが井上ガバナーをサポートし、ロータリーの将来を真剣に考えておられることを大変嬉しく思いました。

さて世の中は、インフレの時代がずっと続いた後、デフレの時代に変わりました。右肩下がりの状態で、企業が競争力のあるものだけを残していくのは当然のことです。ただ、その時に大切なのはスピードです。そのうちに…と思っている企業は全部駄目になります。

それと同じく、ロータリーも大変難しい曲がり角にきていると思います。しかし、座談会の最後に戸田パストガバナーがおっしゃったように、ロータリークラブが本来の活躍をすることによって、メンバーが増え、出席率が上がってくるものだと思います。

これから行う部門懇談会「変えてはならないロータリー」でも、盛んにディスカッションいただき、ロータリーの活性化を共に考えていきたいと思っています。



「明日へのメッセージ・100字・変えてはならないロータリー」



リーダーを務めるのは最長老の
田中和一郎氏（96歳）



会長部門

大会決議案説明

中川章三パストガバナー

所感

井上暎夫ガバナー

リーダー 田中和一郎（吹田 RC）

S A A 井上 義信（吹田 RC）

副SAA 木村雄次郎（吹田 RC）

記 録 市川 徳明（吹田 RC）

IM1 組

座長 鳥居則成（豊中南 RC）
書記 木村正治（豊中 RC）

職業奉仕はロータリーの根本であり、職業を天職と考える。厳格な会員選考を保持し、ロータリーの質を重視する。例会時間（1時間）の厳守。家族親睦会の活用。

IM2 組

座長 藤井 實（茨木 RC）
書記 矢野克吉（茨木東 RC）

①職業人の自覚を持ち、奉仕の理想を行動に。情熱をかけて感動的な活動をする②例会出席が、活動の原点であることを自覚する③継続事業の活動の中で親睦を図る④ロータリーの精神、哲学を忘れないように。

IM3 組

座長 田邊和宏（寝屋川 RC）
書記 西垣文雄（大東中央 RC）

近時、会員増強の美名の下に、ロータリーの基本的運営ルールとか、崇高な理念がおろそかにされてはいないか。もっとも大切な事は、職業倫理の向上に努めることだ。

IM4 組

座長 寺田秀興（東大阪東 RC）
書記 龍田守内（東大阪西 RC）

慣習こそ、ロータリー 100 年の実績の結晶である。例会の開催や委員会編成、また会員選考のスタイルなどを堅持して行きましょう。

IM5 組

座長 小林惇三（大阪中央 RC）
書記 近藤嘉一（大阪ユニバーサルシティ RC）

ロータリーの基本理念、基本精神は変えてはならない。その他のことは、時代に合ったように変えて行くべきである。

IM6 組

座長 中 眞一（大阪東淀 RC）
書記 青木 高（大阪淀川 RC）

①理念は変えてはならない（素晴らしい理念）②しかし今のままではだめ。形式に走り、コストをかけ過ぎ。品位、質が落ちている。社会活動は、常識的ではいけない。実力者に弱くしてはいけない③例会は、楽しく意味があるから出席——自発性、協調性、親切、特に卓話が大切④ロータリアンであることを誇りに思えるように変えて行くべき。それが、理念を変えない基本。過去の栄光を守るためには、社会からの尊敬を受けられるロータリーを。

IM7 組

座長 井澤武尚（大阪船場 RC）
書記 櫻井 勲（大阪本町 RC）

ロータリーが他の奉仕団体と本質的に異なるのは、職業奉仕である。職業倫理の向上に努力し、専門職務の道德的水準を高め、地域社会に根ざした奉仕活動を展開する。

IM8 組

座長 内海郷司（大阪住吉 RC）
書記 新屋正富（大阪天王寺 RC）

①例会出席をクラブ活動の根本義務とする。出席義務を緩和してはならない。むやみな出席競争をする必要はない。出席率の向上は、例会プログラムにある②奉仕の理想・理念および4つのテストは、ロータリアンの義務である。

「明日へのメッセージ・100字・変えてはならないロータリー」



例会出席を出会いの場とし自己研鑽する大切さが話し合われた

幹事部門

ロータリー文庫PR

福井隆男 ロータリー文庫運営委員

所感

近藤雅臣 パストガバナー

リーダー 伊藤徳次郎 (吹田 RC)

S A A 成尾 紹雄 (吹田 RC)

副SAA 矢橋 繁雄 (吹田 RC)

記録 石田 式二 (吹田 RC)

IM1 組 座長 松本邦夫 (豊中南 RC)
書記 浦川光雄 (箕面中央 RC)

「奉仕の理想」を高く掲げ、楽しく実践することによって、会員の中に喜びを共有しつつ地域活動として広げていけるような、クラブ活動を続けていきたい。

IM2 組 座長 中西 勝 (茨木 RC)
書記 坪内 隆 (茨木西 RC)

ロータリーは、職業を通して I serve の精神で世界社会に貢献する。ロータリアンは例会出席を出会いの場とし、平等と協調の意識の下にノーとは言わない積極的な心構えで自己研鑽する。これぞロータリー。

IM3 組 座長 竹本則彦 (寝屋川 RC)
書記 瀧川博嗣 (門真 RC)

ロータリー運営は、親睦が根幹になっていると思われます。

* 週1回の例会の維持

(出会いに学ぶ、出席は義務である)。

* 1業種5名は多すぎるのでは。

IM4 組 座長 加納 眞治 (東大阪東 RC)
書記 中村与志夫 (東大阪中央 RC)

「ロータリーの友」の購読のシステムの継続。週1回の例会の継続。職業を通じて I serve の精神で行う奉仕活動。ロータリー活動を通じて自己研鑽の精神を保つ。

IM5 組 座長 石黒重三 (大阪中央 RC)
書記 田淵宏政 (大阪北 RC)

ホームクラブでの出席率を向上すること！
そのために①卓話の充実②週1回の例会を維持する③時代の流れに沿った例会の維持④信頼と親睦の維持向上。

IM6 組 座長 乾新吉郎 (大阪東淀 RC)
書記 笠本義嗣 (大阪淀川 RC)

I serve を基本理念とする RC は、職業奉仕を通じてのみ実在できる。その職業奉仕が、社会・国際奉仕に拡大される可能性を持っている。そのベースは、絶対に変えてはならない。

IM7 組 座長 井上 明 (大阪船場 RC)
書記 木村雅彦 (大阪西南 RC)

ロータリークラブは推薦されて選ばれた人と人との出会いの場である。その人々は、物の考えや信条を異にするものの集まりであって、この多様性がロータリーの力になり、いかに友情を結び付けるか、親睦が生まれ、奉仕が生まれ、仲間同士から充実感が得られるクラブでなければなりません。

IM8 組 座長 北川雅詳 (大阪住吉 RC)
書記 橋本友三 (大阪東南 RC)

ロータリーの崇高な理念と精神綱領は、不偏のものと考えます。その根幹を理解したロータリアンは、時代の必要に応じた新しい思考と行動力を育てる場とすることも必要です。寛容の精神が、今こそ必要と考えます。

「明日へのメッセージ・100字・変えてはならないロータリー」



「職業倫理をロータリー以外の人にも伝えたい」という声も

職業奉仕部門

地区報告

辰野元彦 職業奉仕委員会委員長

所感

寺田和之パストガバナー

- | | |
|-------|---------------|
| リーダー | 佐藤 庄治 (吹田 RC) |
| S A A | 柴田 仁 (吹田 RC) |
| 副SAA | 本田 壽子 (吹田 RC) |
| 記 録 | 井村 卓治 (吹田 RC) |

IM1 組 座長 齊城正之 (豊中大阪国際空港 RC) 書記 芝野弘三郎 (箕面 RC) 自身の職業に対する知識と高い道德観にもとづいた職業倫理を目指し、それを小・中学生、親および先生たち、ロータリー外の方々にも伝えていく努力を、奉仕活動を通じて広めていくことを忘れないようにしましょう。	IM2 組 座長 山田慶子 (茨木 RC) 書記 夜久亢宥 (吹田 RC) 職業奉仕の基本理念はロータリーの誇りであり、堅持していくことが肝要である。それには、例会が楽しくなるよう異業種のメンバーが交流し、心を開いて親睦の実を上げつつ奉仕の心を各自で実践 (社会貢献) に移していくことである。
IM3 組 座長 内田恵三 (寝屋川 RC) 書記 芦田八郎 (守口イブニング RC) ①例会での卓話の実行②優良事業所の見学③奉仕理念精神を忘れてはロータリー活動はできない④各自の職業を通じて社会への奉仕と友情を深めること⑤大東市 13 万人市民から選ばれた 68 人の自覚 (ロータリアンの誇り) ⑥奉仕活動として心の先生に寝屋川 RC で 2 人登録している。教育委員会では「英語」と「コンピュータ指導」を希望。	IM4 組 座長 寺西太一 (東大阪東 RC) 書記 松本智孝 (八尾東 RC) 常に相手の身になって事業を行うことで、信頼関係が生まれ事業の成功がもたらされる。すなわち「事業の成功はサービスによって可能になる」。サービスが大きければ大きいほど、得られるものも大きい (アーサー・シェルドンの理論)。
IM5 組 座長 上内清彦 (大阪中央 RC) 書記 江指 助 (大阪リバーサイド RC) 変えてはならないこと。それは職業奉仕の理念である。即ち各自の職業倫理を高め、各々の業界をより良くして社会全体に奉仕していくという考え方である。これに基づいて各自の個性を活かして積極的に奉仕活動を遂行する。	IM6 組 座長 小澤アキ子 (大阪東淀 RC) 書記 山本 博史 (大阪大手前 RC) 職業奉仕とは、職業を通して社会に奉仕するというのが、最も大切な理念である。各自の職業を誠意をもって推し進め、自他共に幸福にならなければならないと思う。
IM7 組 座長 勝賀瀬誠 (大阪船場 RC) 書記 吉川仁育 (大阪なにわ RC) ロータリーとして変えてはならないこと。 ①職業奉仕はロータリーの最重要テーマ。金看板②出席 100 %③テリトリーを守る④週報、ガバナー月信、ロータリーの友を熟読し、常に情報の収集に努めること。	IM8 組 座長 古池幹郎 (大阪天王寺 RC) 書記 津和章雅 (大阪城南 RC) ロータリーの基本である職業奉仕の理念である。各人が職業に対する理念の追求を続けること。

「明日へのメッセージ・100字・変えてはならないロータリー」



組織構成、ニコニコ箱に寄付などの意見が出された

社会奉仕部門

地区報告

古澤照男 社会奉仕委員会委員長

所感

熊澤忠躬 パストガバナー

リーダー 北村 英一 (吹田 RC)

S A A 有澤 潤 (吹田 RC)

副SAA 木田 育伸 (吹田 RC)

記 録 大橋 弘一 (吹田 RC)

IM1 組

座長 山本 榮 (豊中南 RC)
書記 尾上克雅 (箕面 RC)

ロータリアンの健全な事業の継続 (倒産させないようガンバル)。週1回の例会は、回数を減らすとかえってクラブから会員が離れていく。楽しい例会の中にも奉仕の精神を持つロータリーの理念や、基本理念を守り続けていかなければならない。

IM3 組

座長 荒木 実 (寝屋川 RC)
書記 伊泊規子 (大東中央 RC)

組織構成が1年ごとなのは非常に良い。1年間だから思い切った事ができるのではないかな。ロータリーの精神 (理念) は、基本なので変えてはいけないことです。特に3組は素晴らしい雰囲気なので、今まで通りの魅力ある例会を続けて欲しい。

IM5 組

座長 上杉忠嗣 (大阪中央 RC)
書記 津田 宏 (大阪梅田東 RC)

クラブと地域社会との結びつきが大切。会員全員が参加できるプロジェクトを継続的に実施することにより、ロータリアンとしての自覚が出てくる。

IM7 組

座長 杉浦敬久 (大阪船場 RC)
書記 永通明温 (大阪心斎橋 RC)

来年の国際大会に向けて、地域に密着した社会奉仕活動を継続する為にどうするか、各クラブで再考する。IM7組として、御堂筋・心斎橋の美化、安全問題に取り組むことを決議しました。

IM2 組

座長 坂井正純 (茨木 RC)
書記 村井正雄 (吹田西 RC)

ロータリーの奉仕の精神 (理念) に基づいて、地域事業奉仕事業への積極的参加だが、メーキャップについて食事をして帰って出席率を上げて、地域活動に何の意味があるのか？食事代をホームクラブのニコニコにしてはどうか？

IM4 組

座長 中西正美 (東大阪東 RC)
書記 前田進輔 (東大阪西 RC)

I serve の理念、各年度単年度に各委員長が変わり、それぞれの奉仕活動を考え行動することが自己を高め、I serve の第1歩となる。1年ごとの委員長制は、決して変えてはならない。専門であってはならない。

IM6 組

座長 松尾 寛 (新大阪 RC)
書記 福山信也 (大阪城東 RC)

①約束：約束を厳しく守る。時間などのルールは厳格に②出席：メイクや出席を緩め過ぎ。週1回の例会は必要③ニコニコ箱に寄付などの下限設定は、本来の趣旨に基づいて任意が良い。

IM8 組

座長 川上富清 (大阪住吉 RC)
書記 三木敏裕 (大阪城南 RC)

例会を大事にすることは、即、会員同士の気持ちの交流につながります。卓話も、人数が減ればプレッシャーになります。良い卓話をする事で例会が楽しく、会員の減少防止につながります。

「明日へのメッセージ・100字・変えてはならないロータリー」



来年の国際大会は全員で一丸となって

国際奉仕部門

地区報告 八木頼夫 国際奉仕委員会委員長
長澤利治 世界社会奉仕委員会委員長
近藤貞道 青少年交換委員会委員長
所 感 柏木尚 パストガバナー

リーダー 和田弘毅 (吹田RC)
S A A 足立善信 (吹田RC)
副SAA 上野貞夫 (吹田RC)
記 録 宮脇一彦 (吹田RC)

IM1組 座長 森田治男 (豊中南RC)
書記 湯川泰孝 (箕面中央RC)

ロータリーの原点に戻り「精神的なつながり」を優先。奉仕は後からついてきます。地域の人々から信頼されるロータリーであるよう、自己研鑽すべきである。会員増強は安易にすべきではなく、魅力あるクラブ作りが大切。

IM2組 座長 久保義誓 (茨木RC)
書記 中村 忍 (茨木東RC)

ロータリーの魅力は人との出会い、会員との出会いであり、国際奉仕、職業奉仕、社会奉仕の活動を通じて、多くの人々との出会いを大切にする。奉仕と親睦が基本である。

IM3組 座長 榎本桂子 (寝屋川RC)
書記 内田美和子 (大東中央RC)

変わろうとする動きの中、ロータリーの原点を不偏とし、安易な増強に走らない。組織を簡素かつ機能的に運営すること。混迷する現在、一定のレベルを保ち、親睦と奉仕を基本とする、人間性を取り戻す例会を続けて行きたい。

IM4組 座長 須崎洋一 (東大阪東RC)
書記 瀧田浩彦 (東大阪中央RC)

クラブ内の人間関係や好き嫌いの感情を越えて、恵まれない人々への国境のない奉仕精神とクラブ内会員の親睦の和から、他クラブとの協同奉仕事業を通じて、他クラブ会員との親睦の輪を広げる精神を貫くこと。

IM5組 座長 益田照夫 (大阪中央RC)
書記 田上元一 (大阪ちゃやまちRC)

①ルール重視＝毎週の例会を変更しない事
②会員間の友好を増すことを重視する③例会会時の食事スタイルを変更しない事④各奉仕委員会の理念を忘れない事⑤ロータリアンは国際交流の目的を捨てない事。

IM6組 座長 田村順子 (大阪東淀RC)
書記 亀岡 勉 (大阪淀川RC)

ロータリーの原点①魅力あるロータリー、楽しい親睦を通じて②奉仕活動は手近なところから③青少年活動、組織構造ルール活動、運営などは、その時、その時に変わっても良い。

IM7組 座長 平山明彦 (大阪船場RC)
書記 笹井敏之 (大阪フレンドRC)

①出席のルールを今迄通りに
おたがいが会う事により友情がわきクラブの発展にもつながる
②今回の地区大会のこのやり方
従来通り部門別に討論すべき。特に今回は来年度国際大会が大阪で行なわれますので変えたとすれば全員で国際大会を検討すべきではないでしょうか。

IM8組 座長 瀧口利章 (大阪住吉RC)
書記 村上高兒 (大阪住之江RC)

①ロータリアンの原点は、職業倫理に基づき自己の生業を盛んにすること②新入会員の選考は、品位を維持すべく厳格に！③出席メイクアップおよび例会の規則は、これ以上緩めないこと。定款・細則はむやみに変えない④週1回の例会出席は、親睦と奉仕の始まり——ロータリーの原点。

「明日へのメッセージ・100字・変えてはならないロータリー」



奉仕の理想など、ロータリー精神の再確認をすべく熱心な議論が繰り広げられた

ロータリー財団部門

地区報告

居相英機 ロータリー財団統括会議議長

所感

中野董夫 パストガバナー

リーダー 羽間勝昌 (吹田 RC)

S A A 上本 博 (吹田 RC)

副SAA 岩田 喜好 (吹田 RC)

記 録 寺西 孝年 (吹田 RC)

IM1 組

座長 坂本英一 (豊中南 RC)
書記 澤木政光 (豊中 RC)

年次寄付はロータリー財団の諸活動を進める上で欠くべからざるものである。そのためには、ポリオ撲滅キャンペーンにならって半強制的に集めるのがベターである。ロータリーの理念に信念をもっておれば当然である。

IM3 組

座長 藤井 修 (寝屋川 RC)
書記 渡邊哲也 (交野 RC)

奉仕の理念—4つのテスト (奉仕はロータリーの基本である)、財団米山奨学金制度、GSE 制度。例会の出席は自己啓発と会員相互の親睦であるから、今以上に出席規定をゆるめてはいけない。

IM5 組

座長 緒方 満 (大阪北 RC)
書記 井原悦司 (大阪大淀 RC)

①各クラブのロータリアンが奉仕の精神とは何かを知り、具体化実践②自分の欲する行動を相手に、決して見返りを求めない③ルール緩和にも自己に信念を持って発足当時の初心は常に振り返る。

IM7 組

座長 松谷廣信 (大阪船場 RC)
書記 鈴木敬治 (大阪心斎橋 RC)

ロータリーの原則はやはり決められたルールをみんなで守り合うことが基本である。この基本のもとに職業奉仕・親睦等の理念を実践していくことがロータリーの原点であり、魅力あるロータリー作りにつながる。

IM2 組

座長 岡 信行 (吹田西 RC)
書記 若林三雄 (茨木東 RC)
代理出席 中田有紀

初心を忘れず。つまり国際ロータリー本来の理念、精神を保つ。有意義な活動 (ロータリー財団、米山奨学生等) は続けて、次世代につなげてゆくこと。安易な増強はすべきでない。

IM4 組

座長 中西 昇 (東大阪東 RC)
書記 松村匡浩 (八尾 RC)

奉仕の精神を持ちルールに従って魅力ある運営、資金の負担の関係上、明瞭な会計報告、地域に密着した活動を積極的に行うことにより、ロータリー活動を一般の方に理解して頂き、クラブライフの活性化を図る。

IM6 組

座長 郡 悦清 (大阪天満橋 RC)
書記 廣末利男 (大阪大手前 RC)

ルールを変えない。毎週例会とか1業種1人とか例会出席とメーキャップなどロータリーらしさが消えている。財団担当は寄付集めに苦勞多し、ぜひ、財団寄付金の減税を実現して下さい。

IM8 組

座長 松井隆雄 (大阪天王寺 RC)
書記 岡倉三郎 (大阪城南 RC)

ロータリーの「奉仕の理想」の理念は変えてはならない。その具体的実現の方法に関しては、その時代に合った最善の方法で対応すべきである。原点を大切に。

「明日へのメッセージ・100字・変えてはならないロータリー」



千玄室氏に特別参加していただき、
会場は大いに盛り上がった

フレッシュメンバー部門

スピーチ

千 玄室 RI 会長代理

所感

吉川 謹司 パストガバナー

リーダー 大枝 朗 (吹田 RC)

S A A 柳川 義行 (吹田 RC)

副SAA 河内 幸枝 (吹田 RC)

記 録 井上 陽二 (吹田 RC)

IM1 組 座長 西口定雄 (豊中南 RC)
書記 陶柳之介 (箕面 RC)

例会へ出席することを通じて、メンバー間の親睦を深めることにより、我々の生活する地域の特色を活かした社会奉仕、事業を通じた奉仕を忘れては、ロータリーの活動はありえないのではないのでしょうか。

IM3 組 座長 中谷廣一 (寝屋川 RC)
書記 初木賢司 (枚方くずは RC)

まずは出席すること。そして挨拶をすることで相手の気持ちに思いやりをもとう。出席することで自分の職業を充実することができる。

IM5 組 座長 森脇 寛 (大阪中央 RC)
書記 秋山千尋 (大阪ユニバーサルシティ RC)

職業奉仕を通じた奉仕活動を理念とすることが共通の意志。特に自己啓発、自己研鑽を中心とした奉仕活動に専念したい。もっと「謙虚さ」をモットーにした奉仕活動を大事に行きたい。

IM7 組 座長 金子和夫 (大阪船場 RC)
書記 遠藤三夫 (大阪南 RC)

まず、しぼりはきつくとも例会に出席すること。先輩によるロータリーの心の享受が大切。異業種の人との交流による視野の拡大、役職経験による各種鍛錬などにより、自己成長をはかり、ひいては社会への貢献につなげたい。

IM2 組 座長 戸川通夫 (茨木 RC)
書記 奥谷英夫 (千里 RC)

尊敬する戸田パストガバナーの子どもや孫を目指して、会員1人ひとりがロータリーの原点(奉仕の精神、例会出席義務、卓話の充実)に返ることが、ロータリーを活性化させると確信しております。

IM4 組 座長 辰巳裕胤 (東大阪東 RC)
書記 勝弘義一 (東大阪中央 RC)

奉仕の精神と、クラブの昔からの伝統を失わずに受け継いで行く事。それには、例会の出席など続ける事に意義が生まれる。会員同志のコミュニケーションなど、色々の話し合いをする中から楽しく生きて行ける意義を見つけない。

IM6 組 座長 橋川淳一 (大阪東淀 RC)
書記 上田耕司 (大阪大手前 RC)

- ①創立の理念・精神を大事に伝える。
- ②ルールを守らせる (皆出席・昼例会推奨)。

IM8 組 座長 平田幸雄 (大阪平野 RC)
書記 大林岩夫 (大阪阪南 RC)

- ①職業を持続することが社会奉仕である
- ②毎週1回の例会は続けるべき
- ③30分の卓話は勉強になるので続けるべき
- ④社会奉仕活動
- ⑤米山奨学制度

大会第2日プログラム

平成15年5月10日(土)

大阪国際会議場 5F メインホール

◆本会議◆

12:15 登録受付

13:00 開 会 大会SAA 神前俊彦
アシスタント 石田敦子
(毎日放送)

大会役員紹介

RI会長代理紹介

参加クラブ紹介

13:23 開会点鐘 ガバナー 井上暎夫
国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

ソングリーダー 坂口治男

ピアノ伴奏 土井真弓

13:25 開会宣言 大会委員長 近藤雅臣
来賓紹介 ガバナー 井上暎夫

13:40 物故会員に黙祷

13:45 ガバナー挨拶及び地区現況報告
ガバナー 井上暎夫

14:00 RI会長代理挨拶及びRI現況報告
RI会長代理 千 玄室

14:25 RI2004年国際大会報告
RI2004年国際大会(関西)実行委員会
第9部会PR・報道副部会長 平井義久

14:38 表 彰

14:48 登録委員会報告
委員長 寺井明納

信任状委員会報告
委員長 寺田和之

選挙委員会報告
委員長 柏木 尚

大会決議案上程
委員長 中川章三

大会決議案採択
ガバナー 井上暎夫

15:00 ガバナーエレクト紹介

ガバナー 井上暎夫

ガバナーエレクト挨拶

ガバナーエレクト 若林紀男

2004 - 2005年度

ガバナーノミニ紹介

ガバナー 井上暎夫

2004 - 2005年度

ガバナーノミニ挨拶

ガバナーノミニ 宮田宏章

次年度地区大会ホストクラブ紹介

ガバナー 井上暎夫

次年度地区大会ホストクラブ会長挨拶

次年度ホストクラブ会長

大阪東RC会長 岩橋貞雄

15:08 RI会長代理講評

RI会長代理 千 玄室

記念品贈呈 ガバナー 井上暎夫

15:20 新世代合同会議メンバー紹介

◆記念イベント◆

15:35 記念シンポジウム

テーマ「新世代に引き継ぐ奉仕の思想」

インタビュー 石田敦子

コーディネーター もず唱平

パネリスト 高畑敬一

パネリスト 山口良治

パネリスト 中 淳志

17:00 記念演奏「東儀 秀樹コンサート」

17:55 閉会挨拶 ホストクラブ会長 岩崎熙毅

閉会点鐘 ガバナー 井上暎夫

18:00 閉 会





今こそ奉仕と友情という 原則に立ち返る時

ガバナー

井上 暎夫

■80年を迎えた大阪クラブ

当地区で最も古い大阪クラブが設立されたのは1922年。今年度はちょうど80年を迎えます。この機会に当地区86クラブがどのように拡大してきたかを振り返ってみたいと思います。

1922年、シカゴRCのスポンサーにより、大阪RCが設立されました。1950年代、大阪北RC、大阪南RCが同時に設立され、この年10のクラブが設立されました。1960年代は大阪淀川RCほか16クラブ、1970年代には大阪柏原RCなど21クラブ、1980年代は大阪リバーサイドRCをはじめ22クラブ、1990年代に至りまして、吹田江坂RCをはじめ14クラブが設立されました。2000年代、守口イブニングRC、大阪ユニバーシティRCの設立をもって、本年は拡大がありません。以上をもちまして現在は86クラブです。

■現在、86クラブ4593名

続きまして会員数です。2002年7月から2003年の3月まで、190名の入会をみましたが、243名の退会者が出ました。本年3月31日現在、4593名、期初より53名の減少です。

次に奉仕活動です。RI理事長事業である識字率向上プログラムは、地区によるCLE識字プログラムほか26のクラブで実施していただきました。また、ガバナー会決議による教育問

題の取り組みは、地区の職業奉仕委員会が会員による講師登録名簿を作成、クラブに配りました。また、IM2組では職場体験などのIMを開催、各クラブでも教育問題に取り組みました。次年度は、IMすべての組が教育問題を取り上げると聞いています。

青少年関係では、少年少女ニコニコキャンプが2002年8月9日から11日、大阪淀川RCのホストによって行われました。ライラは2003年5月3日から5日、大阪船場RCのホストによって行いました。

■アルムニ会が1月発足

国際関係では、青少年交換は16名の派遣、15名の受け入れ、短期交換6名です。研究グループ交換は、イギリスの1050地区へ2002年の10月に派遣しました。2003年の4月に受け入れを終えました。GSE体験者によるアルムニ会が本年の1月に発足しています。

世界社会奉仕では、クラブが実施するという原則を進め、約80%のクラブが独自で実施しています。残りが地区単位での実施です。

財団の寄付では、2001年、2002年、一般寄付は当地区1人当たり124.40ドル。日本平均は94.22ドル。世界平均は55.19ドルです。2003年3月末の一般寄付の累計は449,677.77ドル、ポリオは222,599.43ドル。米山寄付は2001年、2002年度の普通寄付は、当地区2660地区が1人当たり20,055円です。日本平均は14,771円、

2003年3月末現在、普通寄付は24,983,250円、特別寄付は51,902,930円です。皆さん方のご協力に心より感謝いたします。ありがとうございます。

■ビチャイ会長の言葉をかみしめ

本日は元R I 理事、元トラスティーであります千玄室会長代理をお迎えし、第2660地区大会を開催できましたことを、地区内会員一同と共に心より喜び申し上げます。

千会長代理は、来年この大阪の地で開催されます国際大会の大会委員長をお務めです。開催地であり、ホストの一端を担う当地区の会長代理としては最もふさわしい方を派遣くださったビチャイ・ラタクルR I 会長に、心よりの感謝を申し上げる次第です。親しくご指導いただき、熱き思いを次年度の国際大会につなげたいと思っています。

本年度、ビチャイ・ラタクルR I 会長は「ロータリーで仕事をするのはクラブである。それを支えるのはメンバーであり、クラブこそがロータリーの核である」と明言され、「本年はロータリーを原点に立ち返る年にしたい」と語られました。

「慈愛の種を播きましょう」というテーマのもとに、ロータリーの奉仕が自らの真心から出たものでなければならないというメッセージをお送りいただきました。人間味あふれる言葉が私どもの心を打ちました。私はこの会長に巡り会えたロータリアンとしての喜びを、本当に今年は感じさせていただきました。ビチャイ会長の言葉をかみしめて、本年の地区運営に生かせるような努力を現在も続けております。

■根底にある問題を直視

さて、本年、地区は財政上の危機を迎えました。皆様方のご理解をいただいて委員会の統合、

組織の改革等を行い、ようやくこれを乗り切るめどができました。しかし、私どもはこの根底にある大きな問題を今直視しなければなりません。それは会員の減少です。昨年度、会員増強の大会令の下で世界では会員数が増加しました。しかし、実際はかなり疑問のあるものが多いと聞いております。急に集めたものはいつか霧散するのは世の常です。バブル崩壊以後、経済不況はもちろん大きな要因ですが、しかしそれがすべてではないと思っています。私はかつて、R I の増強の大会令がクラブの活動を阻害し充実に妨げてきたのではないかと、疑問を持った時期もありました。公式訪問を終えた現在、今こそビチャイ・ラタクルR I 会長の指摘のように、クラブの充実に私どもの努力を傾注しなければならないと感じております。

■奉仕の理想を今1度確認

楽しいクラブライフをうたう一方で、寄付の呼びかけも大変大事なことです。しかし、どうしてロータリアンとしてあり続けたいのか、その理念をR I はないがしろにしてきたのではないのでしょうか。確たる理念に裏付けられた私どもの信念は、少々の不況には揺るがないと確信しています。不況だからこそロータリーにとどまりたいとするのが、草創期のロータリアンの思いではなかったのでしょうか。苦しいときにこそロータリーの友情が役立つと思います。今こそ奉仕と友情という原則に立ち返り、職業での専門的な知識と公私の理想を語れるクラブにしたいと思っています。次世代に引き継ぐ奉仕の理想を今1度確認しようではありませんか。

本日の地区大会がこのようなことを考えるきっかけになればと、大変嬉しいと思っています。最後に本大会の運営に携わっていただいたロータリアンの皆さん、また今日参加いただいたすべてのロータリアンの皆様方に、心よりの感謝を申し上げます。

地区現況報告

1. クラブ奉仕部門

クラブ奉仕委員会
拡大・増強委員会
情報・広報委員会

- クラブ数 (2003年3月末現在) 86クラブ
- 会員数 (") 4,593名
(入会 190名、退会 243名)
- 地区クラブ奉仕部門3委員会合同セミナー
第1回 2002年8月3日 (薬業年金会館)
第2回 2002年12月7日 (")
- マスコミとガバナーとの懇談会
2002年9月10日 (リーガロイヤルホテル)
「2004年国際ロータリー国際大会について」
- 文化講演会 (第2640地区と共催)
講演: 米国総領事
「北朝鮮の拉致、核開発について」
- 地区ホームページの作成と管理
地区の基本データの掲載 (地区内クラブ、
地区組織の情報)、毎月のカバナー月信の
掲載を中心に委員会活動報告等を掲載

2. 職業奉仕部門

職業奉仕委員会

- 全国ガバナー会では、地域での奉仕活動の一環として教育改革への取り組みが決定されたが、それに基づき、文部科学省による「心のせんせい」や、大阪府・大阪市の「学校支援人材バンク」への非常勤講師の登録依頼を行った。

3. 社会奉仕部門

社会奉仕委員会

- クラブ社会奉仕委員長会議
2002年9月3日 (大阪府赤十字血液センター)
- 環境研修見学会
2002年10月17日 (ダイキン工業KK堺製作所)

4. 青少年奉仕部門

新世代合同委員長会議
青少年活動委員会
ローターアクト委員会
インターアクト委員会

- 少年少女ニコニコキャンプ
2002年8月9日～11日
大阪府立青少年野外活動センター (能勢)
テーマ “自然の中で新しい友達と遊ぼう”

参加者: 児童 108名、リーダー 35名

ロータリアン (登録 399名、参加 51名)

ホストクラブ: 大阪淀川ロータリークラブ

本年度は井上ガバナーの指導で、本事業に対して、ホストクラブが所属するIMが資金的に援助する方針が新しく実施され、ホストクラブの財政的負担が軽減された。

○春のライラ

2003年5月3日～5月5日

大阪府青少年海洋センター (淡輪)

テーマ「人に優しく 地球に優しく
慈愛の苗木を育てよう」

参加者: 青少年 101名

ロータリアン (登録 405名、
参加 101名)

ホストクラブ: 大阪船場ロータリークラブ

○ローターアクト

クラブ数: 24クラブ (休会 1)
(提唱 27クラブ)

会員数: 321名 (2002年12月現在)

○インターアクト

クラブ数: 7クラブ (提唱 7クラブ)
海外研修: 2002年8月3日～7日
(シンガポール)

参加 43名

ホスト: 大阪桐陰中学・高等学校

5. 国際奉仕部門

国際奉仕委員会

世界社会奉仕委員会

青少年交換委員会

- 新設の国際奉仕委員会の主務は ONTO CONVENTION と心得て、まず5月のブリスベン大会への参加を呼びかけた。

○青少年交換

長期派遣 2002年8月出発: 16名

カナダ2名、アメリカ4名、
メキシコ、ブラジル、フィンランド、
フランス、ノルウエー、ベルギー、
ポーランド、ドイツ、ハンガリー、
インド各1名

長期受入 2002年8月来日: 15名

アメリカ4名、カナダ2名、
フランス、ドイツ、ベルギー、
フィンランド、ポーランド、
ハンガリー、チェコ、インド、
ブラジル各1名

短期交換

地区現況報告

来日 インド2名、アメリカ2名
派遣 アメリカ2名

6.ロータリー財団部門

ロータリー財団統括会議
財団情報・増進委員会
財団奨学金・学友委員会
研究グループ交換 (GSE) 委員会

○地区ロータリー財団セミナー

2002年7月13日 (大阪YMCA)

○ポリオ撲滅募金活動キャンペーンセミナー

2002年8月4日 (東京プリンスホテル)

2002年10月13日 (リーガロイヤルホテル京都)

○ロータリー財団への寄付

		前年同期比
一般寄付:	449,677.77ドル	85.8%
ベネファクター:	29,031.75ドル	81.1%
計	478,709.52ドル	85.5%

○2002～2003年度 派遣学生: 17名

アメリカ4名、フランス3名、カナダ2名、
イギリス2名、オーストラリア、イタリア、
ドイツ、オランダ、オーストリア、ブラジル
各1名

○2002～2003年度 来日文化研修生: 3名

台湾、韓国、ニュージーランド

○研究グループ交換 (GSE)

当地区より第1050地区イギリス・イングランド
北西部マンチェスター及びその近郊への派遣

2002年9月13日～10月14日

○第1050地区イギリス・イングランド北西部マン チェスター及びその近郊より受入

2003年3月14日～4月11日

○2002年4月、ロータリー財団のGSEに関する 規定が変わり派遣・受入が隔年となった。

○2004年5月に国際大会が大阪で開催される為、 2003～2004年のGSE交換は行わない。

○GSEアルムニ会創立

2003年1月25日 (大阪産業創造館)

・第2660地区のGSE参加は1968年6月から
始まり、2002年までに113名が参加。

○人道的分野へのDDF配分額

2002～2003年度: \$149,000

プロジェクト進捗状況 (3月25日現在)

・ポリオ撲滅募金キャンペーン \$50,000
・世界社会奉仕助成金 (Discovery Grants)

大阪淀川: バングラディシュ \$4,000

地区WCS: カンボジア \$5,000

・ヘルピング・グラント (Helping Grants)

大阪そねざき: 東ティモール \$1,000

・マッチング・グラント (Matching Grants)

豊中: タイ \$5,000

大阪西南: 寝屋川 \$1,667

大阪天満橋: トルコ \$7,315

大阪なにわ: タイ \$4,000

茨木、高槻: ジョクジャカルタ \$5,000

大阪淀川、大阪東淀: バングラディシュ

\$11,000

地区WCS: パキスタン \$12,000

茨木西: タイ \$2,000

・地域社会援助プログラム (CAP)

大阪中央: 情報障害児治療施設 \$1,777

大阪梅田東: 精神障害者支援 \$1,000

豊中千里: 点字図書館 \$3,333

計 \$114,585

○ポリオ撲滅募金キャンペーンの現状

DDFから (2003年4月末) \$100,000

クラブから (2008年2月15日迄) \$153,999.29

合計 \$253,999.29

7.米山奨学部門

米山奨学委員会

○米山奨学会への寄付

(2002年7月～2003年3月末)

前年同期比

普通寄付 24,983,250円 93.1%

特別寄付 51,902,930円 88.8%

合計 76,886,180円 90.1%

○米山奨学生 (2002年度支給学生)

Y奨学生 44名 (大学院博士課程24名
修士課程10名 学部3名
医博7名)

CY奨学生 3名 (大学院博士課程)

SY-S奨学生 2名

合計 49名

出身国: 中国24名、韓国15名、台湾4名、
ベトナム3名、インドネシア、
カンボジア、マレーシア 各1名



RI 会長代理

千
玄室

素晴らしいロータリアンが一堂に

思いがけなくピチャイ RI 会長から、第 2660 地区の地区大会に代理として出席して欲しいという下命がありました。大変光栄に思いお受けしました。

昨日から地区の皆様がこの大会に熱心に参会され、素晴らしいロータリアンとしての奉仕の精神を学ぼうとされているお姿に接して、心強く嬉しく存じています。

この大会の主催者である井上ガバナーは、来年度 2004 年の世界大会の財務長としてもご活躍いただいている重要なお方です。ご夫妻でこの大会のために献身的な努力をなさっているお姿に感激しています。そして、この大会を取り仕切る最高責任者であるパストガバナー・近藤雅臣委員長もまた、来年の世界大会の実行委員長として采配を振るっている方です。近藤委員長、井上ガバナーのコンビで大会をお迎えになられたことを何よりと存じています。また、ホストクラブの岩崎会長、ホストクラブの会員の皆様方共々ご努力をいただいております。本当にありがとうございます。

当地区から選出されました菅生ロータリー理事がいらっしゃいます。盤石のごとくどっしりと落ち着いて構えていらっしゃるお姿に接すると、ほんとに安心いたします。来年の世界大会には、担当の理事としてご指導を得なければなりません。よろしくお願い申し上げます。

7 月から理事としてお出ましになる田中作次ガバナーエレクトも、ご夫婦でお見えになっています。日本はこうして素晴らしい理事が選出されています。今日は残念ながら板橋理事がローターアクトの総会があるため、早朝にお帰りになられました。板橋理事はこの 6 月に任期が終わり、新しく田中ガバナーエレクトがお出ましになります。

「看脚下」を忘れず、
播いた種を自ら育てましょう

6月1日から、今年の世界大会がオーストラリアのブリスベンで開催されますが、その大会に先立ちまして、ビチャイ会長の出身地のタイ国で理事会が開催されます。板橋、菅生、田中各氏がお出ましになり、日本のために気炎を上げていただくことになっています。どうぞよろしくお願いいたします。

そしてまた今日は、ロータリーにとって最も大事な米山奨学会の島津久厚財団理事長にご出席いただいています。「ロータリーの友」編集長、また、それぞれご来賓の皆様方のご出席をいただき、大変嬉しく思っています。同期のガバナーの皆様方も随分ご出席いただいています。また、ファーストガバナーの皆様方もお元気で、昨日は戸田ファーストガバナーの久しぶりの気骨あふれるロータリーへの情熱をお聞きできて、本当に良かったと思っています。

地区大会は時間の許す限り、ロータリアンと家族の皆様が一堂に会して、情報交換、友情の交換、クラブ同士の交換、親睦を中心に奉仕の哲学を少しでも勉強していただく、そういう催しの中に皆様方がどっぷりと浸かっていただくことが地区大会の大きな目的です。

叡智と指導力と情熱のビチャイ会長

ビチャイ会長は仏教徒であり、東洋からお出ましになった会長として、素晴らしい叡智と指導力と情熱をお持ちの方です。ビチャイ会長が理事の時代にアジア大会の委員長をされ、私が補佐の副委員長をさせていただきました。長い間、ロータリアンとしてだけでなく家族ぐるみでおつきあいさせていただいています。

会長は政治家でもありタイの王室との親交も深い方です。特にタイ国の政界を担って、外務大臣、国際連合協会の会長などさまざまな要職を務められ、スポーツでもアジアのオリン

ピックの委員長を務められました。ロータリーではトンプリ・ロータリークラブのチャーターメンバーでもあり、1959年から長い間ロータリアンとして活躍されてきました。4年前にタイ国で開催されたアジア大会の開会式で、会長が私の横に来られて「アジアは未来の姿を世界に示していかなければならない。その1番の原動力になるのがロータリーだと思う。だからタイ国だけでなくアジアのいろんな国のロータリアンが一体になって、ロータリーの未来を見直すように。少なくともロータリーがロータリーとしての本質をしっかりと見極めてやって行くようにしないとイケない。そのときは協力してください」とおっしゃいました。

まさしくそのとおりに4年後にビチャイ会長が生まれたわけです。“Sow the seeds of love” 慈愛の種を播こうと。これは釈尊の教えの中にもあります。慈愛、愛というものが地球で1番大事な人間の在り方でなければならない。特定の愛ではなく、人間同士が本当に心から尊敬し信じ合い愛し合っていく。それでこそ素晴らしい平和が生まれていくのではないか。今の世界はそれを忘れてる。エゴの中で人間が1人ひとり自分勝手に自分の思いをあれこれ巡らす。その結果、戦乱があったり、宗教の名を借りた闘争があったり、さまざまな人間の葛藤が醜い姿で現れている。こうした乱れた世の中でこそ、ポール・ハリスが創建されたロータリーの精神哲学がもっと強く広がっていく必要があると思います。

ロータリーの哲学を自分のものに

アメリカでポール・ハリスがロータリーを作ってから、2005年に100年という年を迎えます。これだけの大きな組織に作られてきたロータリーは、揺るぎもしない存在価値を持っています。

しかし、その存在価値を作っていくのは私ども1人ひとりのロータリアンでなければなりません。今ここで、私たちが真剣にポール・ハリスが創建されたときの原点に立ち返って、ロータリーの在り方を再検討していく必要があるのではないのでしょうか。レビュー&レニューというターゲットをお作りになった会長が数年前におられました。日本語で言いますと「看脚下」、足元を見ろという。みんな上ばかり見過ぎて、肝心の自分の足元を見つめるのを忘れているのではないか。もう1度ロータリアンが自分の職業を通じて、自分の立場を通じて、足元を見直す。見つめ直す。そしてこの崇高なロータリーの奉仕の哲学を本当に自分のものにしていかなければなりません。

「あなたの愛の手を差しのべて」

今のロータリーは巨大な組織になり過ぎました。昨年度のキング会長のときに、余りにも増強という言葉が使われ過ぎて「看脚下」が忘れられた。寸時に124万人くらいの会員増強ができ、クラブ数が増えたけれど、現在どんどん減ってきています。124万あった会員数が現在では122万になっています。まだまだ減っていく。31,000のクラブ数があっても、活躍していないクラブが世界中に随分あります。無理をして拡大したお釣りが、どんな姿で国際ロータリーにはね返ってきているか。それを思うと、今ここで改革をしなければならない時期にきているわけです。

来年の世界大会では、しっかりと世界に向かって、新しいロータリーの創成に向かって、日本から声を上げていかなければならないと、私は信じております。そのためには近藤委員長、ぜひ声高々に叫び声を上げていただきたい。事務総長の吉川ファーストガバナー、井上ガバナ

ー、このお三方の大きな動きが、これからの国際ロータリーを動かして行く一助になると信じています。

2004年、2005年のジョナサン・マジヤベイ会長は、ナイジェリア出身で初の黒人の会長です。私と理事が同期です。非常に素晴らしい人格者で、英国で紳士学を学ばれ、弁護士の資格を取られ、誠に謙虚な会長です。恐らく皆様方もすぐにおなじみいただける方だと思っています。

マジヤベイ会長エレクトが示されたように、来年のテーマは“Lend a hand”手を貸そうです。しかし、私は単なる「手を貸そう」ではないと思っています。本年度のビチャイ・ラクル会長が作られた“Sow the seeds of love”慈愛の種を播こう、その播いた種をマジヤベイ会長は、みんなの手を汚してその種を本当に育てて行かなければならない、そのためにはあなたの手も、あなたの手も、あなたの手も貸してください。“Lend a hand”あなたの愛の手を差しのべてくださいと。これがマジヤベイ会長のテーマに表れている哲学だと思います。

ポール・ハリスが「ロータリーは慈愛と忍耐と寛容である」という教えを残しました。慈愛と忍耐と寛容。この3つの柱をもとにしたロータリーの在り方を、今ここでもう1度考えていただきたいと思います。

ポリオ撲滅へ8000万ドル必要

今、ロータリーがいろんなことで随分活躍しています。特に財団ではポリオ撲滅に向かって2005年には撲滅の宣言をしなければならない。そのためには、8,000万ドルの費用が必要です。そのうちの2,000万ドルをぜひ日本で寄付してほしい。この地区は100%以上のご寄付を頂戴して大変ありがたく思っております。私の方の地区も100%以上の能力を示していただき、感

“奉仕の哲学”を呼び掛ける千RI会長代理



謝に堪えない次第です。

ポリオを撲滅させるのは並大抵のことではありません。そのために今日までロータリーが献身的な奉仕を続けてきたわけです。もう一息です。ロータリーのためではなく、他の人のために、私たちが私たちの身と心を持って奉仕できる道として、熱心に取り組んでいただけたら、これほどありがたいことはありません。

国際ロータリーは寄付、寄付とお金のことばかり言ってくるじゃないかという苦情が、たくさんガバナーのところへ参っています。ガバナーの方々も大変だと思います。しかし、ただいらずらにロータリーが金集めばかりに走っているわけではありません。会長代理としてだけでなく RI の役員を長くやらせていただきましたので、その裏表はよく分かっております。台所事情が大変に苦しい。何とか苦しい中から世界に冠たるロータリーの存在価値を示さなければならない立場にある。

今いち度「レビュー&レニュー」を

スタートに“I serve”ということで出発したロータリーが、100 年を間近にした今日、いつの間にか“We serve”に変わってきている。「ロータリアン個々1人ひとりの奉仕が大きく実って、全体的な奉仕の価値を作り上げる」という決議があります。1人ひとりのささやかであっても世に尽くそうとする志が“I serve”。それが隣の方、隣の方へと積み積み重ねて“We serve”になるわけです。今はどちらかといいますと“I serve”が消えてしまい、仕方がないからやろうということばかりになってきています。

これでは釈尊のお教えなった布施の心にはほど遠いものになってしまいます。布施とは己を捨てて他のためになってあげるといふ気

持です。なってあげるということが大変大事であると思います。奢らず、自分たちの足元を見つめながら堅実な布施を考えると、初めてそれが素晴らしい奉仕の実を上げていくと思います。

今こそもう1度、我々はレビュー&レニューという言葉の唱えるべきではないでしょうか。もう1度みなさん足元を見てください。そして、私たちが手をつなぎ合って前進していくときに、慈愛の種が育っていくと信じて疑いません。

ラタクル会長は、そんな気持ちで「慈愛の種をまこう」というターゲットをお作りになりました。次年度のマジヤベイ会長エレクトは「手を差しのべよ」、隅々まで思いやりの心を持って見つめ、慈愛の心を育てようじゃないかとされました。

そのような思いが来年大阪で実ろうとしております。どうか皆様方1人ひとりが同じ気持ちで来年の世界大会を迎えていただき、絶大なるご協力を頂戴できますよう、心からお願い申し上げます。私のご挨拶ならびに RI の現況報告に代えさせていただきます。



RI2004 年国際大会報告

RI2004 年国際大会(関西)実行委員会

第9部会 PR・報道副部会長 **平井 義久**

今日はこのように素晴らしい2660地区の地区大会に時間をいただきまして、誠にありがとうございました。

国際大会の意義などについては既に皆さんが十分にお話しされました。先ほどのプロモーション映像は2660地区では初公開のビデオです。今後はこれを持って全国各地、また海外へもアプローチして参ります。

素晴らしい世界大会が関西の地で開催されます。東京以西では初めての開催です。翌年に100周年を迎える節目の時でもあります。どうか海外の姉妹クラブ、友好クラブ、全国各地の姉妹クラブ、友好クラブにお声かけをしていただき、一緒に地区大会にお越しただけるようお願いしていただきたいと思いますと思っています。

国際大会は、私たち2650地区と皆さんの2660地区、そして2640、2680地区が合同で行うとはいえ、皆さんの素晴らしいご協力と力強いご支援がなければ成功は望めません。当然、2660地区の皆さんは全員参加で、と声を大きくしてお願いしたいと思います。多くの素晴らしいロータリアンに集まっていただき、記念すべき国際大会を大成功に導いていただければと思っています。

来年の2004年国際大会は大阪ドームが満杯になりますように、皆さん1人ひとりが多くの皆さんをお呼びいただくようお願い申し上げます。



登録委員会報告

委員長 **寺井 明納** (千里RC)

登録委員会より登録のご報告をさせていただきます。

ご来賓の皆様方49名、そのご家族の方が31名、2660地区の全員登録を頂戴いたしまして4006名の登録をいただきました。そのほかに新世代合同会議メンバーの皆様方111名の登録をいただいております。

本日は多数ご登録いただきまして、誠にありがとうございました。

選挙人の適格を確認



信任状委員会報告

委員長 寺田 和之 (大阪RC)

当委員会は八田昌三さん(豊中南RC)、飯田正弥さん(大阪北RC)、山本武男さん(大阪東RC)、平岡龍人さん(大阪RC)、それに委員長の私の5名で構成されております。

地区内86ロータリークラブ4006名から提出されました183人の選挙人の信任状、証明書を審査いたしました。その結果、選挙人全員が国際ロータリーの細則第15条第5節に照らして、いずれも適格であるということを確認いたしました。なお、この選挙人名簿は柏木尚選挙委員長に既にお渡ししてあります。以上です。

次年度ガバナー・ノミニーに宮田氏



選挙委員会報告

委員長 柏木 尚 (豊中RC)

当委員会は青木禎一郎さん(豊中RC)、盛田三五さん(大阪東RC)、笹井敏之さん(大阪フレンドRC)、須崎洋一さん(東大阪東RC)、それに私の5名で構成されております。本日、寺田和之信任委員長の報告を受け、地区大会信任状証明書は確かに受領いたしました。

国際ロータリー2660地区、2004～2005年度ガバナー・ノミニー候補者については、昨年のガバナー月信・第2号8月号で当地区内、各ロータリークラブに国際ロータリー細則15条15・070、15・070・1～15・070・6の条件を満たすガバナー・ノミニー候補者のご推薦をお願い致しましたが、その期日までにいずれのクラブからもお申し出がありませんでした。

そこで、当地区ガバナー指名委員会は規約に基づき、2002年11月8日に開催した委員会において、大阪北RCの宮田宏章君を2004～2005年度の国際ロータリー2660地区のガバナー・ノミニー候補として、全員一致をもって推薦としたわけですが、規定においては、1年間瑕疵なくクラブ会長を務めた者と定められております。

この件につきましては、国際ロータリー理事会の承認を得て、ガバナー月信3月号において井上暎夫ガバナーより、宮田君を国際ロータリー2660地区の2004～2005年度ガバナー・ノミニーとして宣言されました。以上の通りご報告申し上げます。



決議委員会 委員長

中川 章三

本委員会は光信昌明さん（大阪城南RC）、平川恵一さん（大阪北RC）、矢橋弘嗣さん（千里RC）と私の4人で構成されております。決議案は10号ありますが、ここでは決議案の重要点だけに触れます。

決議第1号。国際ロータリー会長代理、千玄室氏に対する感謝の件。本大会は千玄室様に深甚な謝意を表すことを決議いたします。決議第2号は国際ロータリー2660地区直前ガバナー、寺田和之氏に対する感謝の件です。

決議第3号は2005年から2006年、国際ロータリー会長候補者に元RI理事、千玄室氏を推挙する件です。わが2660地区は国際大会大会委員長を務められる千玄室氏を2005年から2006年度RI会長に最もふさわしい候補者として、地区内86クラブ一丸となって推挙することに決議します。

決議第5号。これはロータリーの原点に立ち返り、われわれロータリアンは今1度4つのテストの活用をより一層推進し、職業倫理の向上に努力することを決議します。

時間が限られていますので、後はお目通しいただいて、この案を採択していただければ幸甚です。以上です。

大会決議案

決議第1号

国際ロータリー会長代理
千玄室氏に対する感謝の件

国際ロータリー元理事千玄室様は、国際ロータリー会長ビチャイ・ラタクル氏の代理として、公私誠に多忙の中、本地区大会にご臨席を賜り、国際ロータリーのテーマ「慈愛の種を播きましょう」を推進するために、極めて格調の高いメッセージと、元理事としての豊かな情報により、参加者全員に深い感銘を与えて下さいました。

よって本大会は、国際ロータリー会長代理千玄室様に深甚な謝意を表すことを決議します。

決議第2号

国際ロータリー第2660地区直前ガバナー
寺田和之氏に対する感謝の件

直前ガバナー寺田和之氏は、国際ロータリーのテーマ「人類が私達の仕事」という極めて難解な

テーマを噛み砕いて「人類の幸福に貢献することは、私達の責務である」とし、各クラブに奉仕の理想を推進するように指導されました。また、国際ロータリーより日本のロータリーに勧奨されているように、リーダーシップ・プランについて2002～2003年度よりの導入を決定されました。

よって、本大会は直前ガバナー寺田和之氏に対して、その功績を讃えとともに、深甚な感謝の念を捧げることを決議します。

決議第3号

2005～2006年国際ロータリー会長候補者に
元RI理事千玄室氏を推挙する件

1921年東京ロータリークラブが認証されて以来、日本のロータリーは82年を迎えるものの日本人の会長は僅か2名を数えるのみであります。

国際ロータリー及びロータリー財団への貢献度や実力とあまりにも合致せず、無念の極みです。

しかも2人目向笠廣次氏就任から20年の時が空

しく過ぎてきたのでありました。

次年度26年ぶりの日本での国際大会が関西4地区をホストに大阪の地で開催されるのを契機とし、日本人による会長実現の達成を切望し、わが2660地区は国際大会大会委員長を務められる千玄室氏を2005～2006年度R I会長に最もふさわしい候補者として地区内86クラブ一丸となり推挙致すことを決議します。

決議第4号

2002年度の収支決算（監査報告付）を承認する件

本大会は国際ロータリー第2660地区の2002年度収支決算書（監査報告付）を承認することを決議します。

決議第5号

ロータリーの原点に立ち返り、ロータリアン自らが自己の事業および専門職務の道徳的水準を高めるため、4つのテストの活用を推進する件

ロータリーの綱領は有益な事業の根底に奉仕の理想を培うことにあることを示しております。近時続発する職業倫理の低下に起因する多くの不祥事に直面し、ロータリアンは1915年サンフランシスコ大会で『ロータリーの道徳律』を決議した原点に立ち返り、自己の事業および専門職務の道徳的水準を高め、率先して世に範を示す責務を自覚しなければなりません。

奉仕の理想は個人即ち自らが果たさねばならないロータリアンの義務であります。われわれロータリアンは今1度4つのテストの活用をより一層推進し、職業倫理の向上に努力することを決議します。

決議第6号

研究グループ交換実施の件

本大会は、国際ロータリー第1050地区（英国イングランド北西部、マンチェスターとその近郊）と当地区との間に合意されている2002～2003年度の研究グループ交換プログラムに賛同し、我が方は2002年9月13日より10月17日まで該地で研修して帰国、相手のメンバーは、去る3月14日より来阪し4週間の研修を終えて、元気に帰国されました。

これは地区内の全クラブが積極的に協力して国際理解増進の成果を上げたものとして、ここに感謝の意を捧げることを決議します。

決議第7号

次年度地区大会開催に関する件

本大会は次年度、大阪東ロータリークラブをホストとして、国際ロータリー2003～2004年度の地区大会を2003年11月14日から15日まで大阪市（大阪帝国ホテル、NHKホール）において開催することを決議します。

決議第8号

オーストラリア、ブリスベンで開催される

2002～2003年度国際大会への参加を推進する件

2003年6月1日より4日まで4日間、オーストラリア、ブリスベンで開催される国際大会に多数、当地区ロータリアン、ならびにその家族の参加を推進することを決議します。

決議第9号

次年度2004年、大阪（関西）で開催される国際大会参加の件

2004年度、R I国際大会は当大阪（関西）において5月23日より26日まで4日間、千玄室大会委員長ならびに近藤雅臣実行委員長、吉川謹司事務総長の指導の下で開催されます。この大会を成功させるために、全国のロータリアンおよび関西地区の全ロータリアンならびに、そのご家族の参加を推進することを決議します。

決議第10号

本大会のホストクラブおよび協力諸団体に関する感謝の件

国際ロータリー第2660地区2002～2003年度地区大会が、多数の地区内ロータリアンとその家族が参加し、多大の成果のうちに終了できることは、ひとえにホストクラブである千里ロータリークラブ、近藤雅臣大会委員長のもと、会員、ご家族並びに関係者の皆様の周到な準備と2度にわたる献身的な奉仕ならびに関係諸団体の絶大なご協力の賜物であります。

よって本大会は、ホストクラブである千里ロータリークラブとコ・ホストクラブである吹田、吹田西、吹田江坂、千里メイプルロータリークラブの会員、ご家族ならびに関係者の皆様に対して深甚な謝意を表すことを決議します。

2003～2004年度 ガバナーエレクト

若林 紀男



この7月から地区をお預かりします若林です。

私は今ゾクゾクしています。大事の前の武者震い
です。本年の井上ガバナーはクラブが主役、ボトム
アップ、地区のスリム化を掲げられました。私も全
く同感です。次年度はこの路線を踏襲したいと思っ
ています。

また、地区内86ロータリークラブの活性化のため
に、地区は全力を挙げて皆様方を援助したいと思っ
ております。2004年5月、4地区合同でホストとし
て開催される国際大会、この国際大会をR I大会史
上まれに見る素晴らしい大会にするために、どうぞ
全ロータリアンの皆様方、レンド・ア・ハンド、手
をお貸しいただきたいと思います。

来年1年間、全力を挙げて務めさせていただきます
ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

略 歴

最終学歴

慶応義塾大学商学部卒業

職 歴

1966年 大阪家庭瓦斯株式会社
(現株式会社ファミネット)入社
1983年 株式会社ファミネット
代表取締役社長
1983年 北陸エルピーガス株式会社
代表取締役社長
1997年 関西サプライセンター株式会社
取締役
1998年 株式会社ファミリーガス
代表取締役会長

主な役職

1981年 社団法人大阪青年会議所副理事長
1982年 近畿液化ガス保安協議会副会長
1982年 日本簡易ガス協会近畿支部理事
1991年 近畿液化ガス保安協議会会長
2000年 近畿液化ガス保安協議会顧問

ロータリー歴 (商社)

1982年8月 大阪東ロータリークラブ入会
1990～91年 幹事
1991～92年 親睦活動委員長
1992～93年 理事・国際奉仕委員長
1993～94年 理事・SAA
1995～96年 理事・無任所理事
1999～2000年 会長
2001～02年 ロータリー財団委員長
地区リーダーシップ・プラン推進
委員

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 大口寄付
ベネファクター

生年月日 1941年2月18日

2004～2005年度 ガバナーノミニ

宮田 宏章



来年の7月から再来年の6月は、この地区の国際
大会後の100周年ということで、非常にラッキーな
ガバナー予定者だと思っております。皆様と一緒に
100周年を大いにお祝いしたいと思っております。

井上現ガバナーは内部管理、財務の件で改革され
ました。若林ガバナーもいろいろな新しい奉仕のプ
ログラム、会社で言えば営業的な面での改革を発表
されています。私も両ガバナーの後を継ぎ、同じよ
うに改革を進めていきたいと思っております。

昨日は「変えてはならないロータリー」について
討議があり、非常に参考になりました。この100年、
2回ほど世界大恐慌を乗り越えていますから、ロー
タリーの理念、綱領、目的、歴史などをロータリー
の原理主義者のように勉強すれば、われわれも元氣
が出て、自信ができてくると思います。

原理を勉強して、改革すべき所は皆様と共に楽し
く愉快に改革していきたいと思っております。どう
ぞご協力をお願いいたします。

略 歴

最終学歴

甲南大学経済学部卒業

ワシントン大学経営学部大学院修学

職 歴

1959年 住友商事株式会社入社
1970年 住友商事株式会社退社
1970年 小林製薬株式会社入社
1992年 小林製薬株式会社副社長
1999年 小林製薬株式会社副会長
2001年 小林製薬株式会社退任
現 在 株式会社フォーラム代表取締役
財団法人宮田心臓病研究振興基金
理事長

ロータリー歴 (医薬部外品製造)

1977年7月 大阪北ロータリークラブ入会
1982～85年 地区国際交流委員長
1985～86年 幹事
1987～88年 地区世界社会奉仕委員長
1988～89年 地区世界社会奉仕委員長
国際交流委員長 (理事)
1989～90年 地区世界社会奉仕委員長
1991～92年 地区幹事
研究グループ交換委員長
1992～93年 国際奉仕委員長 (理事)
1999～2000年 地区財団情報委員長・
地区ロータリー財団委員・
副会長・クラブ奉仕委員長
2000～01年 地区財団情報委員長
会員増強委員長
2001～02年 地区ロータリー財団委員長
2002～03年 会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

生年月日 1933年2月11日

11月14～15日、自主登録制で開催

大阪東ロータリークラブ会長

岩橋 貞雄



次年度地区大会のホストを務めることになりました大阪東RCを代表いたしまして、ご挨拶とお願いを申し上げます。

次年度地区大会には例年と異なる点が2つあります。ひとつは開催時期であります。例年ですと次年度地区大会は来年の今頃に開催されることになるのですが、皆様ご存知の通り、国際大会と重なることとなります。そこで半年間繰り上げて、今年の11月14、15日の2日間、NHKホールと帝国ホテル大阪で開催することとなりました。今年度の地区大会を終えて半年後の開催となりますが、皆様方には多数の参加をお願い申し上げます。

2つ目は登録についてです。近年の地区大会の登録は、全員登録ということになっておりましたが、地区大会の基本に返って自主登録制にさせていただきました。すなわち、参加する人だけが登録料を払うというシステムです。従って参加する人が少ないと大赤字になって、わが大阪東RCは財政破綻をきたすかも知れません。できるだけそうならないように楽しい、魅力ある地区大会にしたいと実行委員会を設けて企画を

進めております。

昨日のプログラムで「変えたいロータリー」というテーマの座談会と「変えてはならないロータリー」というテーマの部門別懇談会がありました。「変えてはならないロータリー」はロータリーの理念とか精神に関することがほとんどで、一方「変えたいロータリー」は例会や行事が形骸化しているのではないか、そのためロータリーの魅力が失われて、出席率の低下や会員の減少もあるのではないかというご意見が多かったように思われます。

そういった観点から、若林ガバナーエレクトの自主登録制という決断は、ロータリーを変えたいという気持ちが切実に伝わってくるものであり、ロータリアンの皆さんの賛同を得られるものと思っております。ぜひ皆さんの多数のご登録を伏してお願い申し上げます。

次年度会長はじめ、大阪東RC一丸となって、手分けして皆様のクラブにお願いにあがる予定です。ぜひロータリーの友愛の精神でもってご協力をお願い申し上げます。私たちの新しい試み、チャレンジにぜひ、手を貸してください。



地区大会の基本に返り、次年度地区大会は自主登録制が採用された



大阪府知事 太田 房江

国際ロータリー第2660地区の2002～2003年度地区大会が開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

皆様には、地域社会のため、そして世界平和、国際貢献のために、奉仕の精神に基づいた様々なご活動に力を尽くしておられますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、私も知事として、大阪をもっと元気で暮らしやすいまちにするため、産業の活性化や都市・府政の再生、そして今年は大阪の確かな未来に向けた最大の投資である「子育て」を重点テーマの1つに取り組んでいるところです。

未来をしっかりと生き抜く力を持った子どもたちを育成するためには、学校、家庭、地域が一体となった取組を進めていくことが重要です。そして、規範意識やモラルの低下、少年非行など、今の子どもたちに見られる憂慮すべき問題は、我々大人社会の反映として謙虚に受け止め、大人自らが心のありようを正し、自覚と責任をもって行動することが大事

だと考えています。こうした中、皆様が重要な取組の1つとして青少年の健全な育成に取り組まれていることはもとより、高い倫理観を持って社会の様々な分野でより良い未来を築くための活動を率先して行っておられますことを、とても心強く思っています。

国際ロータリーでは、来年、大阪で国際大会の開催が予定され、また、再来年の2005年には記念すべき創立100周年を迎えられると伺っております。こうした機会と皆様の心温まるご活動の輪がさらに大きなうねりとなって広がりますことを心から願っております。

私も皆様と力をあわせながら、大阪をもっと素晴らしいまちにするため全力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、どうか引き続きお力添えをよろしくお願いいたします。

結びに、「新世代に引き継ぐ奉仕の理想」をテーマとしたこの大会が実り多いものになりますことと、国際ロータリー第2660地区すべてのクラブの今後のますますのご発展を心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。



大阪市長 磯村 隆文

国際ロータリー第2660地区の2002～2003年度地区大会が盛大に開催されますことを、心から喜び申し上げます。

皆様方には、会員相互の友情と親睦を深められるとともに、崇高なロータリアンの精神に基づき、地域社会の発展と福祉の増進を図り、国際的な相互理解と友好親善の進展をめざして、幅広い奉仕活動を展開しておられます。

近年、国際社会における平和と安定を願う気運がより一層高まり、社会経済情勢も大きく変動する中、皆様方には、「新世代に引き継ぐ奉仕の理想」というテーマのもと、多彩なプログラムからなる大会を開催されますことは誠に意義深く、井上ガバナー、近藤大会委員長をはじめ会員の皆様方の御熱意と御尽

力に深く敬意を表する次第であります。

大阪市では、だれもが安心して暮らせるよう市民福祉の一層の向上に努めるとともに、内外から多くの人・もの・情報が集まり、新しい産業や文化を創造する活力に満ちた「国際集客都市」の実現に力を注いでおります。また、子どもからおとしよりまで親しめる市民スポーツの振興を図るとともに、本年9月の世界柔道選手権大会をはじめ、様々な国際競技大会を招致開催するなど、「スポーツパラダイス大阪」の実現に取り組んでおります。

今後とも、市民が誇りに思い、ゆとりと豊かさを実感できる「21世紀のモデル都市」の実現をめざして、積極的に市政を推進してまいりますので、皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

国際ロータリー第2660地区のますますの御発展と、皆様方の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



中氏が撮影したアフガニスタンの写真は、
会場の人々に何を訴えたか

記念シンポジウム

新世代に引き継ぐ 奉仕の理想

ロータリーの精神を次代に受け継ぐ新世代合同会議のメンバーたちが、ズラリと壇上に登場。奉仕の理想について、それぞれの熱い思いを語った後は、彼らが見守るなか「新世代に引き継ぐ奉仕の理想」をテーマに、記念シンポジウムが開かれた。

●コーディネーター●

もず 昌平

作詞家。「釜が崎人情」「花街の母」などのヒット曲を作詞。「心身障害者に熱気球で大阪城を見せる会」を主催。

●パネリスト●

高畑 敬一

元松下電器労組委員長。厚生担当役員を歴任。NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ会長。

山口 良治

伏見工業高校ラグビー部総監督。京都市スポーツ政策顧問。

中 淳志

写真家。タリバンによる破壊後、初めてバーミヤン遺跡を撮影。



パネリストの話を熱心に聞く
新世代合同会議のメンバーたち

●生活上のコストとして 「奉仕」は当然のこと

もず このシンポジウムは「新世代に引き継ぐ奉仕の理想」がテーマですが、ここでは奉仕の理想については議論しません。パネリストの方々は、それぞれ非常に完成度の高いお仕事をなさっておられますので、お仕事を紹介いただくことが、実は奉仕を考えることになるのではないかと考えています。3人の方々と事前にお会いして、大阪弁で言う「へえ、びっくりしたなあ」ということがずいぶんありました。

高畑さんは、「時間の預託」をテーマに、奉仕活動を貯金されています。私はその貯金は、いずれ自分に返ってくるためかと思ったのですが、「そうではないよ」と。一方的に奉仕をする。時間を預け放しで生涯を全うすることが喜びである。高齢者の尊厳とはそういうことなのです、と教えていただきました。

山口良治先生とは、「ラグビーとはどういうものですか」とやりとりしました。ラグビーは1人ではできない。自分がチームの貢献者になれた時は、誰かがサポートしてくれている。ありがたい気持ちがないとラグビーはスポーツとして完成しない、と教えていただきました。初めて高校のラグビー部監督に就任されたときに名門・花園高校と対戦し、何と112対0で負けた。そのチームを、音に聞こえるラグビーチームに育てられたのが山口さんです。

中さんは、若い世代を代表する写真家ですが、非常に印象に残ったお話をうかがいました。アジアの諸国にレンズを向けて写真を撮ってこられましたが、貧しいことと経済的な豊かさとは比較対照できないところがありますよと。アジ

アでは子どもの自殺者はほとんどありません。日本では、どれほど多くの子どもが毎年自殺をしているのでしょうか。ショックを受けました。

3人とも、とても大事な奉仕活動を、日々の仕事でなさっているのでは、と思いました。私は、奉仕とは社会生活をする上で、万人に等しくかかる生活上のコストとして当然のことだと思います。教育費がかかるように、奉仕にも当然のコストをかける。そんな考え方に至れば、理想に近づけるのではないかと考えております。

●ボランティアをすることで 生き甲斐をいただく

高畑 日本の厚生年金はずい分良くなりました。

子供の世話にならないで、自立して暮らして行けるようになったのです。問題は定年後約20年間、どのように精神的な自立、充足感を持って生きて行くかということです。そういうことを真剣に考えていच्छ

る皆さん方と、地域で新しい出会いを創りながらボランティアをやらせていただいて、自分の生き甲斐をいただくという趣旨でシニアのボランティアNPOを作って活動しています。

日本のボランティア団体は約10万ありますが、ほとんどが「ときどきおやりになる」単発型の活動団体です。しかし、自分に生き甲斐と健康を頂戴しようとする、週2〜3日はボランティアをしたい。そこで定期継続型のボランティア団体にしまして、小さいながらも事務所を置き、コーディネーターを置いて活動しております。

ボランティアをした時間を1時間1点として貯めて、自分が困ったときにはそれを出して使う、また遠く離れて暮らしている親のためにも

もず 昌平氏



それを使って行ける、こうしたシステムをメインにしているわけです。これは人生の記録、人様に尽くした記録であり、できれば使わないでピンピン生きてコロリと死にたい。

阪神大震災の前にスタートしましたので、当時は介護保険がありませんでした。今は介護保険で足りないところ、介護保険の適用を受けないお年寄り、1人暮らしだけど放っておくと介護が必要な状態に陥るかもしれないというお年寄りの家庭に行って、ボランティアのサービス活動をしています。最近は少子化対策を含めて子育て支援、あるいは町をきれいにする環境美化にも力を入れています。

もず 高畑さんはNPO法人日本アクティブクラブ会長のお立場ですが、会員の構成などを紹介いただけませんか。

●スポーツを通じて心、精神を育てるのが大事

高畑 世界でも珍しいと思うのですが、50歳以上が会員資格で、大半は定年退職者です。夫婦での入会を原則としていまして、現在会員が1万6,000人、70%が夫婦で入会して活動しています。1番多いのは60代、次が50代、次は70代、80代、40代の順番です。最小行政単位ごとに支部を作ってそこで活動するわけですが、現在83の拠点があります。

もず 山口良治先生にお会いしたときに「ラグビーのボールは、なんで後ろに渡しまんねん」ということをお聞きして、いや困ったなあという顔をされました。なぜ、そんな質問をしたかというと、現代社会は早いことはいいことだと、利便性の追求が肯定されているからです。本来ならゴールに早く届くためには前に放ったらいのに、不思議なスポーツだと思って。

ラグビーは1人ではできないということを、非常に興味を持ってお話をうかがいました。1

人でできない、ならば……というところをご紹介いただければ有り難いです。

山口 私は長年、学校の教師をしておりまして、教育者として今日まで頑張らせていただきました。ロータリーの皆さんには、未来を担う青少年の健全育成に、大変大きなご尽力をいただいておりますことをこの場をお借りして、心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。

たかがスポーツ、たかがラグビー、どのスポーツにも言えますが、体の大きな、力のある、足の速い、技術のうまい選手を集めて強くするのは、ある意味では近道かもしれません。でも、私が最も大事にしてきたのは、そのスポーツを通しての心、精神の育成です。

ラグビーは当初、ラグビーフットボールといいました。ボールを蹴って、陣地の取り合いを原野でやっていたのが、どんどん進化して、現代ラグビーがあるわけです。ラグビーがルールの中で最も大事にしているのは、イコール・コンディション、同じ条件ということです。今は15人で常に交代できますが、1人ケガしたら14人になっても、敢闘精神が求められた時代がありました。激しい格闘技です。

●自己責任を果たし、感動を発信できる人間に

ラグビーにはオール・フォー・ワン、ワン・フォー・オールという言葉があります。15分の1の責任を果たす。今、日本の社会ではこの当たり前の自己責任が問われない、果たせない子どもや大人が非常に多いと感じます。

私はまず、目に見えない気持ちを大事にしました。1個のボールを両チームの30人が扱って試合をやるラグビーでは、1人がボールを持つ時間は1分もない。50数分間かはボールを持たないでラグビーをやる。チームのためにサポートするプレイがほとんどなのです。そうい

った意味で、ラグビーそのものが人間教育だと思っていますし、1人でも多くの子どもたちにその場を経験させてやりたいと思っています。

今はうんと少なくなりましたが、多いときは1人で127人もの部員、全校生徒の1割以上、3クラス分以上の子どもたちの面倒を見てきました。山口指導所と言われたほどで、3人分の給料が欲しい、と思ったりもしましたが(笑)。今は90人。それでも全校生徒の1割以上です。

子どもたちにいつも言ってきたのは、「ありがとう!」と言ってもらえる人間になろう。そして「ありがとう!」って言われたら「いえ、どういたしまして」と言おう。1人でも多くの人に喜んでもらえる存在になろう。ずっとこのことを言い続けてきました。ラグビーというスポーツに出会って心身を鍛えた子どもたちは、皆から見放されたり、疎外されたりしていたのに、今では多くの人に感動を発信できる若者に成長している。若者の可能性って本当に素晴らしい。そのことを強く感じます。



山口 良治氏

●ラグビーのポリシーが薄れてきたことを危惧

もず ラグビーもプロ化が進んで、例えば身体能力の優れた、体のでかい、走りの速い選手を集めてチームを編成することがあると聞いています。そのチームが強いのか、必ずしもそうではなさそうだ・・・そのあたりはいかがでしょうか。

山口 体の大きい足の速い強い選手を集めてやれば、1番近道だとは思いますが、強さは決してそれだけではない。ラグビーはアマチュアスポーツの最後の砦だったのですが、今やプロ化が進んで、お金のためにフルタイムで選手をやっている人が多くなりました。日本には、もう

外国から200名近い選手が社会人や大学のチームに來ています。高校のチームにもニュージーランドやトンガから留学生として、勝たんがために來ています。花園大会などに与ますと、「おい、あいつは本当に高校生か。25か30歳くらいの顔をしてるぞ」(笑)と。

フォア・ザ・チームとか仲間のためにとか、ラグビーの教育的なポリシーがだんだんと薄れていることを危惧しています。日本だけでなく世界中で、プロ化の悪影響を多くの人が憂いておられる気がします。

もず 身体能力の優れた人間ばかりが集まれば、いいチームができるわけではないことが分かりました。私は阪神ファンですが、山口先生のお話から今年は阪神の優勝は絶対にあるな、

と思っております(笑)。

それでは、中さんにお話をうかがいます。私も歌の関係で随分アジアに出かけて行くのですが、現地で取材することはとても難しい。それについて、中さんから素晴らしいヒントを与えていただきました。

とりあえず「現地の家族の客人になることが大事でっせ」と。中さんはアフガニスタンのある村では、ジャパニココ、日本の叔父さんと扱われておられる。それがいい写真が撮れる秘密であったり、取材ができる秘密であったりする。写真家ですから、ここに写真を登場させて、こんな写真を撮ってきたというところからお話をいただきたいと思います。

●日本は文化財を持ち込める“無法地帯”

中 これはアフガニスタンのバーミヤン遺跡にある大仏です。東西2つの大仏がありまして、こちらは西の大仏です。高さ55メートル。東大

寺の大仏様が約15メートルですので、その大きさを実感していただけたと思います。2年前、イスラム原理主義のタリバンが大仏を爆破してしまいました。現地で話を聞くと、実際に大仏を爆破したのは外国から入ってきたアラブの人たちだと。非常に大きなショックを受けました。

次の写真は壁画です。バーミヤンには750の石窟、石の崖を掘り抜いた部屋があり、京都大学が1番から順に番号を打ったのですが、その330番目が残されていました。一時は全滅が危惧されていました。この石窟には14メートルの竹のはしごを使って中に入りました。このように1部切り取られています。

切り取られた壁画の1部分が、日本に流入しています。何でもお金で買い集めてコレクションしようとするところがあります。日本では、文化財の流出については非常に多くの法律がありますが、持ち出せないようになっていますが、持ち込むのは“無法地帯”。最近では、イラク・バクダッドの博物館が襲撃されて随分持ち出されましたが、かなりのコレクションが恐らく、数年以内に日本に入ってくるのではないかと思います。現在、マーケットで売っているものはほとんどが盗品、または盗掘品で、非常に問題になっています。

次の写真は、避難民のキャンプで撮影したものです。国内で戦乱を逃れて移動した人たちを「避難民」と呼びます。国外へ出ると「難民」となります。後方に白いテントが写っていますが、バーミヤンの石窟の中に、かなりの数の住民が生活しています。地元のハザーラ族の人たちは略奪、強姦、破壊などの大弾圧を受けました。バーミヤンの遺跡は自分たちのご先祖様が作ったものだからということで、破壊に抵抗したのです。それで邪教の神を信仰すると言われ、

数千人単位の虐殺を受けています。

このキャンプには全く飲料水がありません。毎日、片道2キロの道をミネラルウォーターのペットボトルを持って水汲みに往復しないといけない。ソ連の侵攻以後、23年間国際的に全く放置された場所で、ずっと内戦が続いていました。1,200万発と言われる対人地雷が全然処理できていない。

●アジアの仲間同士 「知り合う」ことが必要

先ほどの写真の子どもはボリオに罹っているのですが、病院や学校が壊滅的な打撃を受けたので、非常に苦勞されています。ようやく昨年、一時的な平和が訪れましたが、いつまで持つか分かりません。アメリカ軍が撤退する話もあり、最低限生活に必要な食糧、医薬品、学校施設の充実が緊急の課題になっています。もず 少年少女たちはどういう立場に置かれているのか、皮膚感覚的に感じられたことを紹介いただければと思います。



中 淳志氏

中 日本は確かにたくさんのアジアの国に経済援助をしています。例えば、ラオス、バングラディシュ。両方とも国連が指定している最貧国ですね。平均月収が20ドルとか10ドル、1,000円、1,500円、多くても2,000円の収入しかない国々を実際に自分の目で見て歩いてきました。日本は情報大国だと言われていますが、驚いたことに、これらの国に関してガイドブックもなければ何の情報も入っていない。どこにホテルがあるのか、どんな観光地があるのか何も分からない。そういう場所がアジアの中にたくさんあるんです。

政府の最大収入が日本からの援助なんだという。現地の人からは「お前は日本人なのか。た

くさん援助をくれてありがとう」と言われるのですが、逆にこちらは何も知らない、何も分からない。日本には、そうした国の情報が何も無いことが非常に驚きでした。

アジアは、距離的に非常に遠いところまでを含みますが、かつて同じ文化を受容してきた1つのファミリーだと思っています。ただし、アジアのあちこちの国で内戦やテロなどが起こり、問題が非常にたくさんある。まず、お互いを「知り合う」ことが、最低限必要だと思うのです。私の仕事はまず知ってもらうこと。それも単に外国としてみるのではなく、自分たちの日本が、アジアの中の国であることを見直してもらいたいと思っています。

もず 私もアジアの某途上国に音楽の交流のために行きましたが、過激派のテロが発生して事務所が吹っ飛んだ体験があります。地雷のやっかいなところは大した殺傷能力がない点。ケガをさせ、兵力としては使い物にならない人間にして、生存だけは奪い取らない。

その方が費用がかかるからだ。人間にこんな発想ができるのかと驚きますが、子どもたちが対人地雷の被害者になっている。戦争によって最悪を被るのは、当事者である大人たちより子どもたちであることに、われわれは心しないといけない。

今日のテーマである新世代にどう引き継ぐか、そのノウハウをわれわれは持っているのかと私自身、自分に疑問を感じています。やはり今、中さんの発言にありました「知り合う」というのがとても大事です。

●人様のために多くの時間を使って良い人生

皆さんは、自分のお仕事を中心に奉仕活動の

一端を担ってらっしゃる。大阪弁で言う「もうかる仕事」を1人もなさっていない。さて、どうしてこの仕事に取り組むようになったのかを聞いて行きたいと思います。

高畑 私が松下電器に入社した頃は、昭和20年代の後半でしたらから、定年が55歳、そのときの平均寿命が62～63歳。先輩たちは定年になったら5～6年で死んでしまわれた。70まで生きている人は、長寿だと言われた時代でした。

私が定年を迎えた頃は、平均寿命が80歳くらいになったのに、定年はたった5年しか延びていませんでした。本当は定年も延びないといけないのですが。60歳から20年間となると、これは余生ではなくて第2の人生だ。何を生き

甲斐にするか考え抜いた末、人様のためにできるだけ多くの時間を使うことが、いい人生ではないかと思うようになりました。では、何をどんなふうに行うかと周囲を見回したら、同じように考えている人がたくさ

んいることが分かりました。

現役時代、アメリカへ行った時に、アメリカの大人の約半分がボランティアをしているのを知りました。特に高齢になるほどボランティアの時間が長くなる。平均すると週5～6時間は継続的にボランティアをしている。アメリカでは公的な健康保険がなく、民間の保険会社に高い保険金を払って医療保険としている。介護保険もなく、日本と比べれば社会保障が良くない。ただ、アメリカは助け合って新しい社会を作ってきた建国の事情で、行政の不足を自分たちの協同の力でやって行くところがある。これは素晴らしいことだな、と思いました。ヨーロッパと違うところです。

日本は今までは非常に良かった。世界一の経



高畑 敬一氏

済国だったのですから。しかし、行政が何でもやってくれる時代は過ぎました。一方で年寄りが人口に占める割合が去年ついに世界1になった。これから世界記録を更新しながら、3分の1が高齢者の、世界が経験したことのない「年寄りの多い国」になるわけです。

生きる希望もなく公園のベンチに座っている年寄りばかりになったら日本に未来はない。自分の問題でもあるけれど、日本の問題でもあるわけです。

アメリカには、全米退職家協会というのがありまして、50歳以上の大人の半分が入っています。町ごとに4,000の支部があり、そこで皆さんがボランティアをしながら助け合って自分も元気にさせてもらっている。これを見習って、全国規模で人生を前向きにいきいきと生きていきましょうと「日本アクティブライフクラブ」と名付けた組織を作りました。

●大人は子どもに感謝の心を 教え目標となろう

もず 「いきがい」をテーマにした展開なのですね。それでは山口先生、先ほどのお話に関連して、具体的に自己責任を根付かせるために何が必要か、お聞かせいただけませんか。

山口 日本の国は豊かさにあふれ、満たされていることに何も感じなくなっている。この心の貧しさが1番大きな社会の、そして教育の問題だと思っています。私は恩師の姿を手本に今日までまいりました。皆さん、いかがですか。小学校低学年の頃の先生を覚えていますか。(後ろの若者に向かって)皆、覚えてる？私は7歳で母が死にましたので、先生方へずい分助けていただきました。

では今、果たしてどれだけの教師が、子どもたちに「先生になりたい」という夢を与えているのでしょうか。世の大人たちが「あんなお

じさんになりたいな」「あんなおばさんになりたいな」という夢を伝えているのでしょうか。子どもの目標としての存在たり得る大人がどれだけいるのでしょうか。貧しい、悲しい出来事がいっぱい起こっています。果たして本当にこのままでいいのでしょうか。

中学生はたかが12歳から15歳の子どもです。確かに教師を殴ったり、暴れて人に迷惑をかける子もいる…でも、初めからそうだった子はいません。どんな関わりを持ってやれるかが大事。見て見ないふりをする無責任な大人では困ります。まず親のお陰、おじいちゃんおばあちゃんのお陰という感謝の心をきちんと伝えることです。

人間は1人では何もできない。1人では生きていけない。それをなぜ伝えられないのか。ラグビーは1番人数の多いスポーツですが、人の力がどんどん自分に生かされ、自分が人を生かす。そこに喜びがある。

どの子どもも家庭環境が違い、いろんな状況があります。だからといって人生を差し引いてもらえるわけでもなく、代わってやれるわけでもない。そんな子どもたちに、一言きちんと伝えれば、素晴らしい頑張りをしてくれます。子どもたちの素晴らしい可能性を信じてやりたい。そして大人は、子どもの目標たり得る、夢を語ってやれる人であってください。どれだけ子どもたちが喜ぶでしょう。

もず 啓示に富んだお話しがたくさんありました。まずは大人が自信を取り戻さないといけない。誇りを持って次の世代に何かを伝えていくことが大事だと思いました。

●1番大切な相互理解が ないから紛争が起こる

日本はアジアの中で共存共栄して行かなければならないと言われています。歴史認識が問わ

れ続けています。中さん、日本とアジア諸国との心の交流で、われわれが考えなければならぬ点をご披露いただけませんか。

中 最初は、お金が儲かる花や山の写真を撮ろうと思ったのですが、結局1番お金の儲からないドキュメンツの写真を選んでしまいました。

1番大切なのは相互理解ですね。いろいろなところで紛争が起こっていますが、お互いがお互いのことを知らないから、起きているのがほとんどです。後は利権の問題です。それで犠牲になるのは1番弱いところ、一般市民とか子どもたちです。

例えばアフガニスタンの対人地雷。だいたい毎週のように事故がある。私がバーミヤンに3週間いた間に3回事故がありました。子どもが2人亡くなり、1人が指を2本なくしました。もう1つの事故では大人の男性が片腕と両目をなくされた。一応、町中に「こういう爆弾や地雷がある。触ってはいけない」というポスターは貼ってあり、学校でも見本を見せて教えています。

しかし、現時点では学校に行っている子どもは半分。残りの半分は全く字が分からない。生活物資がないので、役に立つかと何でも拾って帰る。燃料もなく、たきぎを拾うのも子どもの仕事。おもちゃもないので、拾って帰って触る。そういう事故が多いそうです。

学校に行っていない子どもにどうやって地雷の危険性を伝えればいいのか。僕はただの個人です。1人でできることは本当に限られている。悔しくて涙を流すことがよくあります。何もしてやれないと。だけど僕は写真家です。数多くの人々に写真を見てもらって、こういう現実があることを知ってもらう。ただ僕は、どうしてくれとは言わないことにしていますが。

アジアの人たちは、かつて同じ文化を持っていたファミリーです。そう理解すれば、ファミ

リーが病気になったら、心配して薬を持ってお見舞いに行くのはごく自然のこと。いいことをしているという意識もなく助けに行きますよね。アジアの仲間が、自分の家族同様に助け合いできたらいいなと思います。

●他者に向かって心を配ることが本来の「心配」

もず 皆さんのお話には、共通するところがありました。中さんが「心配」という言葉を使われました。心配は心を配ると書きます。本当は他者に心を配ることが心配なのに、今のわれわれは自分に向かって心を配っている。3人の方は自分以外のだれかに心を配ることを、身をもって実践されている。

国民には憲法の規定によって3つの義務があります。教育、納税、勤労の義務です。このうち義務教育の義務を、国から子どもに付与されている権利と理解されているのではないのでしょうか。これは反対であって、社会人たり得るための注意義務を自分の義務で習わないといかんということなんですね。義務を課せられているのは少年少女や青年であって、等しく教育の機会を付与することとは違います。

山口先生の自己責任の話は、本来的には憲法も規定していることです。そうした「責任がある」ことを大人の責任で、子どもに伝えていくことが本来の意味での奉仕活動につながっていくのではないかと思います。先ほど、千玄室氏のお話の中に「足元を見直しませんか」という言葉があり、私もハッといたしました。もう1度奉仕活動の本質は何かを、若い世代と共に考え直してみたいと思っております。後ろの若い世代の皆さん、何か感じるころがあれば、おじさんたちに球を放ってください。ありがとうございました。

写真で綴る地区大会

実りある大会を願って華やかに行われた開会式

来賓の皆さん

左から、千玄室Rー会長代理、板橋敏雄Rー理事、菅生浩三Rー理事



大会役員

左から、岩崎熙毅ホストクラブ会長、近藤雅臣大会委員長、井上暎夫ガバナー



ロータリーソング「奉仕の理想」を高らかにリードする坂口治男ソングリーダー



大会第1日の司会は井村卓治大会副幹事が、アシスタントは毎日放送の石田敦子さんが努めた



開会点鐘は井上ガバナーの手で



ロータリーの精神
の団結は固
く盛り上がる

クラブ紹介に元氣よくこたえ、改めて奉仕の精神を心に止めた会員たち



大会第2日の司会は神前俊彦大会 SAA、アシスタントは1日目に引き続き石田さん

五月晴れに恵まれ、大会は国際会議場で行われた



RI会長代理として出席した千玄室氏は来年、大阪で行われる国際大会の大会委員長を務める



真剣に和やかに...それぞれの思いを胸に開かれた地区大会



熱く語り合う部門別懇談会でのメンバーたち



裏千家のご好意により茶席が用意された



新世代合同会議の若者たちも、奉仕の理想を掲げて活動する



究グループ交換(GSE) アルムニ会

2002-2003年度 地区大会





東儀秀樹コンサート

会場は荘厳な
たわやうな舞臺

音色が深く静かに流れ

東儀秀樹プロフィール



奈良時代から1300年にわたり、宮中で雅楽を演奏する「楽家」の東儀家に生まれる。宮内庁式部職楽部の楽生科で学び、楽師となる。楽部では箏、箏、琵琶、鼓類、歌、舞、チェロを担当。その一方で、雅楽の持ち味を生かした楽曲の創作にも情熱を傾ける。宮内庁楽部を退職後、数々のアルバムをリリース。96年に発表したデビューアルバムが大反響を呼ぶ。その後、映画音楽、CM、舞台など数多くを担当。また、全国ツアーを精力的に行い中国、ロシア、アメリカなど海外公演でも好評を博す。



家族の集い

オペラ歌手栢本淑子が、イタリアの名曲や日本の懐かしい歌を披露。会場の会員たちも思わず一緒に口ずさむ



栢本淑子プロフィール

大阪音楽大学大学院オペラ専攻修了。西ドイツ国立ケルン音楽大学へ留学。大阪文化祭奨励賞を受賞。01年秋、イタリア・パヴィーアのフラスキーニ歌劇場で「蝶々婦人」の蝶々を演じ、絶賛を博した。

和やかなひと時に心癒されて



大阪スクールオブミュージック専門学校ビッグバンドの演奏が晩餐会を盛り上げた

R I 会長代理歓迎晩餐会



晩餐会のために結成された女声合唱団 Primavera は、ミュージカルや唱歌から美しい歌声を披露した



晩餐会の司会を務めた梶山高志氏(吹田西 RC)とアシスタントの魚瀬千聖さん

来 賓

RI 会長代理	千 玄室	(京都)	第 2760 地区ガバナー	岡部 雅子 (名古屋大須)
RI 理事	板橋 敏雄	板橋 律子 (足利東)	第 2670 地区ガバナー	松本 東 松山 和子 (松山南)
RI 理事	菅生 浩三	菅生 和代 (大阪北)	第 2700 地区ガバナー	高本 精之 高本 貞子 (小倉東)
RI 理事エレクト	田中 作次	田中 京子 (八潮)	第 2710 地区ガバナー	川妻 二郎 (広島南)
(財)ロータリー米山記念奨学会理事長	島津 久厚	(都城)	第 2630 地区バスト・ガバナー	福井 隆男 福井 章子 (鈴鹿西)
第 2530 地区ガバナー		阿久津セイ (福島)	ロータリー文庫運営委員会運営委員	
第 2560 地区ガバナー	佐野 孝	佐野 禮子 (白根)	第 2640 地区バスト・ガバナー	大澤 徳平 (堺)
第 2790 地区ガバナー		森島 正子 (船橋西)	第 2640 地区バスト・ガバナー	亀岡 弘 (泉南)
第 2800 地区ガバナー	野々村政昭	野々村圭子 (山形)	第 2640 地区バスト・ガバナー	成川 守彦 (有田)
第 2580 地区ガバナー	前川 昭一	中曽根真理子 (東京豊島東)	第 2640 地区バスト・ガバナー	前田 孝道 前田 武子 (和歌山東南)
第 2750 地区ガバナー	松崎 勝一	松崎 照子 (東京駒場)	第 2640 地区ガバナー・エレクト	前窪 貫志 (和歌山南)
第 2630 地区ガバナー	服部 芳樹	服部 朝子 (岐阜)	RI2004 年国際大会 (関西) 実行委員会	平井 義久 (京都洛中)
第 2640 地区ガバナー	小島 哲	小島毘沙子 (泉大津)	第 9 部会 PR・報道副部長	
第 2650 地区ガバナー	岡村 吾郎	岡村 昭子 (奈良)	RI2004 年国際大会 (関西) 実行委員会	小林 哲夫 (京都南)
第 2680 地区ガバナー	安平 和彦	安平佐千代 (姫路)	事務総長補佐	
			RI 会長代理秘書	秋山 幸子
			ロータリーの友編集長	二神 典子

バストガバナー・ガバナー補佐

第 2660 地区バスト・ガバナー	戸田 孝	戸田 操 (八尾)	第 2660 地区直前ガバナー	寺田 和之 寺田 初子 (大阪)
第 2660 地区バスト・ガバナー	坂東 宏	坂東 翠子 (吹田)	第 2660 地区ガバナー・エレクト	若林 紀男 若林 俊子 (大阪東)
第 2660 地区バスト・ガバナー	松本 良諄	松本史都代 (大阪東)	第 2660 地区ガバナー・ノミニ	宮田 宏章 (大阪北)
第 2660 地区バスト・ガバナー	古田 敬三	古田 昌子 (大阪)	第 2660 地区ガバナー補佐	八田 昌三 (豊中南)
第 2660 地区バスト・ガバナー	廣瀬勘一郎	廣瀬ヨシ子 (大阪西南)	第 2660 地区ガバナー補佐	橋本 陽二 (茨木)
第 2660 地区バスト・ガバナー	大森 慈祥	(茨木)	第 2660 地区ガバナー補佐	吉川 稔 (寝屋川)
第 2660 地区バスト・ガバナー	中野 董夫	中野ルツコ (大阪阪南)	第 2660 地区ガバナー補佐	表 康之 (東大阪東)
第 2660 地区バスト・ガバナー	熊澤 忠躬	(守口)	第 2660 地区ガバナー補佐	横山 守雄 横山 悦子 (大阪中央)
第 2660 地区バスト・ガバナー	中川 章三	(大阪城南)	第 2660 地区ガバナー補佐	豊島 芳治 (大阪東淀)
第 2660 地区バスト・ガバナー	近藤 雅臣	近藤 淑子 (千里)	第 2660 地区ガバナー補佐	斎藤 満 (大阪船場)
	(大会委員長)		第 2660 地区ガバナー補佐	石田清和喜 石田 玲子 (大阪住吉)
第 2660 地区バスト・ガバナー	吉川 謹司	吉川 房恵 (東大阪東)		
	(大会エイド)		ガバナー夫人	井上美智子
第 2660 地区バスト・ガバナー	柏木 尚	柏木日出子 (豊中)		



奉仕の理想、明日への抱負など
熱い思いを語る若者たち



新世代合同会議メンバー出席者

【ローターアクト (RAC)】

▽地区役員

地区代表	中村和也
地区幹事	川間 衛
地区会計	道本綾子
大阪北ゾーン代理	中井広樹
大阪南ゾーン代理	北風 潤
地区代表ノミニー	西田昌弘
大阪西 RAC	3 名
大阪住吉 RAC	3 名
大阪梅田 RAC	2 名
大阪御堂筋 RAC	1 名
吹田 RAC	3 名
大阪空港 RAC	1 名

【インターアクト (IAC)】

▽清風学園 IAC

顧問教師	門田三生夫
IAC 学生	2 名

▽大阪桐蔭中学・高等学校 IAC

顧問教師	仲谷浩一
IAC 学生	2 名

▽四天王寺高等学校・中学校 IAC

顧問教師	岡 宏治
IAC 学生	4 名

▽浪速中学・高等学校 IAC

顧問教師	本間靖彦
	大塚真紀子

IAC 学生	1 名
--------	-----

▽明浄学院高等学校 IAC

顧問教師	後藤未佳
IAC 学生	4 名

【RYLA】

▽上級ライラ修了者

北山 京	氏野知果	国分 学
井上憲一	市橋典宣	梶野博子

【GSE・アルムニ会】

02-03 派遣	大呉まどか
	佐野友美
	小池重一
	岡田清重
77-78 派遣	新谷 聡
80-81 派遣	藤田佳久
98-99 派遣	中島秀一
	鹿島倫子
	樋口純子
90-91 派遣	松本仁孝

【財団奨学生】

茨木	浜田千理
大阪阿倍野	福嶋千夏
	奥田浩美
大阪本町	立野 圭
高槻	裕上純一郎
豊中	西山幹枝

【文化研修生】

大阪城南	何 佳 芳
------	-------

【財団学友(PSC)】

弓庭育子	濱崎寛和	牧尾晴喜
川中紀子	里井久輝	手島 太
齋藤園子	春田かをり	

【青少年交換生】

大阪天満橋	倉井奈緒子
大阪咲洲	竹中麻衣

交野

大阪本町	勇 香織
東大阪西	佐藤友美
大阪イブニング	杉村昌美
高槻西	斉藤真弦
大阪西	森本 誠
豊中	高木玲花
大阪イブニング	Geoff Matson
	Keith Edward Bilbergall
	Krisztina Losonc
大阪鶴見	Thomas Thompson
大阪大手前	Mariko Mathuis
大阪うつぼ	Pascaline Goffin

【ROTEX】

会長	河田恵樹
副会長	北山 京
3地区合同	久保友美 猪奥元基
	田辺樹希 村上正晃
	櫛田華子 武市真衣
	坪内基真

【米山奨学生】

大阪船場	白 貞 壬
大阪天満橋	李 周 燾
大阪堂島	柳 偉 達
枚方	ギェム・ハー・ベト
茨木	リザ・ムヒダ
豊中千里	徐 賢 娥

【米山学友会】

会長	陳 麗 華
副会長	梁 榮 友
会計	季 麗 俞

R財団功勞表彰を受賞した
寺田和之氏(右)



表 彰

R財団功勞表彰

寺田 和之(直前ガバナー 大阪RC)

RI会長賞(2001～2002年度)

大阪城東RC

ガバナー特別賞(出前課外授業)

豊中RC

ガバナー特別賞(職場体験・講師派遣)

吹田西RC

ガバナー特別賞(元気っ子やお基金)

八尾中央RC

会員増強賞(2001～2002年度)

(最も高い会員増加率達成クラブ)

門真RC

(最も高い退会防止率のクラブ)

大阪城RC

R財団地区特別奉仕賞(2001～2002年度)

(1万ドル寄付)

菅生 浩三(大阪北RC)

若林 紀男(大阪東RC)

ロータリー財団地区奉仕賞(2001～2002年度)

(寄付累計6千ドル以上のMPHF)

奥 嘉隆(交野RC)

羽間 平安(大阪RC)

新井 文三(大阪住吉RC)

一里山泰造(大阪大淀RC)

丸山 俊郎(高槻RC)

R財団寄付優秀クラブ(2001～2002年度)

(会員1人あたりの年間寄付上位3位クラブ)

第1位 大阪城東RC 259.15ドル

第2位 東大阪RC 221.57ドル

第3位 大阪そねざきRC 202.25ドル

上級ライラ修了者賞

氏野 知果 松田奈々恵

牛窪沙奈江 北山 京

中植 祐介

米山奨学会寄付7千万円達成クラブ

(2001～2002年度)

大阪東RC

米山奨学会寄付4千万円達成クラブ

(2001～2002年度)

大阪城東RC

大阪西北RC

米山奨学会寄付3千万円達成クラブ

(2001～2002年度)

千里RC

豊中RC

米山奨学会寄付2千万円達成クラブ

(2001～2002年度)

茨木東RC

池田くれはRC

大阪なにわRC

大阪鶴見RC

米山奨学会寄付優秀クラブ(2001～2002年度)

(会員1人あたりの年間寄付上位3位クラブ)

第1位 大阪イブニングRC 45,221円

第2位 大阪リバーサイドRC 41,444円

第3位 大阪なにわRC 31,852円

表 彰

米山功労者 (※印は期間中複数回寄付者)

(2002年3月1日～2003年2月28日)

東大阪	松村昌美	里見 博	
	関 文男	山下勝弘	
東大阪中央	切石博之	大畑 斉	
東大阪東	須崎洋一	芳田至弘	
枚方	森本匡胤		
茨木	藤井 實	山口和雄*	
茨木西	竹林敏彦		
池田	木平昌男*		
箕面中央	前川 茂	野村正勝	
寝屋川	石山憲雄	亀井信昭	清水茂實
	内田恵三*		
大阪	小谷年司		
大阪ちゃやまち	奥 博行		
大阪中央	小林惇三		
大阪堂島	播磨章一	堀内敏道	
	西野公庸*		
大阪東	青井 隆*	岩橋貞雄	
	石田豊和	片山 勉	村田吉弘*
	中許忠和	檜崎正博	塩谷眞治
大阪東淀	春田貴代子	磯田郁子	郡田義光
	太田廣重	田村順子	渡辺恵美子
大阪本町	石橋正紀		
大阪イブニング	藤江正謹	松浦純男*	
大阪城南	遠田義昭*	津和章雅	
大阪城東	富士谷清	福山信也	北村寛治
	小松 功	松波明宏	佐川寛典
	杵田宜彌		
大阪柏原	岡村政嗣*		
大阪北	古野清賢	石田豊司	
	山下健一		
大阪北梅田	秀平吉朗	筏 純一	神田章太郎
	長田伸一郎		
大阪南	浅沼健一	北川 哲*	
大阪中之島	福田忠博	岡本吉富	山本 肇
大阪難波	入江 実*	前田信夫*	大友正常
大阪なにわ	島崎進一郎	山本和雄	
大阪西	今井元次	甲斐克也	長野泰之
大阪大手前	飯塚久忠		
大阪西北	古市 仁	近藤治郎	築添 正*
	上田宏二		
大阪西南	藤本邦彦	森下美恵子	無量井與吉
	村石 全*	西村敏治	四宮孝郎
	菅澤龍二	山本 章	
大阪船場	樋口一夫		
大阪心斎橋	倉田能達		
大阪城北	濱田智志	川本晴男*	弓削 要
大阪住之江	沖蔦阿喜良		
大阪住吉	新井文三*	平井博道	藺村克彦
	山本嘉治		
大阪天満橋	南川和茂*	山田清隆	
大阪鶴見	阿部成之助	長谷川正	

大阪梅田東	後藤洋治		
大阪うつば	田 季晴*		
千里	小谷 泰	寺井明納	
摂津	北本 武		
吹田	菱川音三郎	本田壽子	上本 博
豊中	澤木政光		
豊中南	藤原俊彰	八田昌三*	光本義一*
	鳥居則成	山本和市	弓場國宏*
豊中千里	樹下行三	熊澤一郎	
八尾	加藤 安	岡田禮一*	植野重雄*
八尾東	原田隆光	大熊 寛	

米山功労クラブ

(2002年3月1日～2003年2月8日)

大 東	大 東 中 央	東 大 阪
東 大 阪 中 央	東 大 阪 東	東 大 阪 西
枚 方	茨 木 東	茨 木 西
池 田	守口イブニング	大 阪
大 阪 中 央	大 阪 堂 島	大 阪 東
大 阪 東 淀	大 阪 本 町	大 阪 イブニング
大 阪 城 南	大 阪 城 東	大 阪 柏 原
大 阪 北	大 阪 北 梅 田	大 阪 御 堂 筋
大 阪 南	大 阪 中 之 島	大 阪 難 波
大 阪 な に わ	大 阪 西	大 阪 大 手 前
大 阪 大 淀	大 阪 リバーサイド	大 阪 西 北
大 阪 西 南	大 阪 船 場	大 阪 心 斎 橋
大 阪 城 北	大 阪 住 吉	大 阪 天 満 橋
大 阪 東 南	大 阪 鶴 見	大 阪 梅 田
大 阪 う つ ば	千 里	摂 津
吹 田	吹 田 西	高 槻
豊 中	豊 中 南	豊 中 大 阪 国 際 空 港
八 尾	八 尾 中 央	

ポ-ル・ハリス・フェロー

(2002年1月1日～2002年12月31日)

(※印はマルチプル・ポール・ハリス・フェロー ㊦はベネファクター)

大東	木田眞敏*	中道弘美㊦	
大東中央	伊泊規子*	糸川千恵子	中島 勤
	若狭一夫	西垣文雄㊦	
東大阪	木室清一	川口暢彦*	加来 仁*
	山下勝弘*		
東大阪中央	金子誠二*	尾崎弘昌*	原口隆夫*
	瀧田浩彦*	中村与志夫	藤原英夫*
	切石博之*	木村正一*㊦	近藤 力㊦
東大阪東	中西 昇	辻 正	寺田秀興*
東大阪みどり	岩本 忍㊦		
枚方	金馬昭郎		
枚方くずは	重田恵年	北川順清	岩本昌治㊦
茨木	中江達雄	松尾康弘	簡 仁一*
	秋山 勤*	田中義信*	藤井 實㊦
茨木東	石川一彦*	竹村ルミ子	川越喜平*
	樋田之宏*		
茨木西	岩井久史	大槻 豊	田村英明
	坪内 隆	都田慶一	吉岡宣史朗
	竹林敏彦*	橋本善治*	
門真	長岡良富	下田良雄	熱田勝彦
	藤木幸雄	馬場絢子	安宅外美雄

交野	蘆田克己	谷島淳郎*	田中 有
箕面	加藤秀逸*	石川 傑*	
箕面中央	神内紘典*	山口誠治*	長野純二*
	浦川光雄*	前川 茂*	
寝屋川	東 良三*	北川法夫	中谷廣一
	藤井 修*		
大阪	山本菊栄	石川 正*	更家悠介
	岡橋泰一郎	真銅孝三*	原井龍一郎
	吉本仁三*		
	石井通洋 ^①		
大阪阿倍野	村上公三郎*	竹川修司*	
	亀井龍彦*	和田弘堂	石黒爲三 ^①
大阪ちゃやまち	吉村 修*		
大阪中央	石黒重三	若本浩司	笹木秀雄 ^①
大阪堂島	播磨章一	城ヶ辻保	片岡亥一郎*
	川辺 清*	仲庭裕明*	西川 亨*
	西尾恒太*	小川道雄*	佐藤太一郎*
大阪フレンド	松本一夫	笹井敏之*	安井 稔 ^①
大阪東	佐藤 勉	瀬戸孝太郎	青木永光*
	崎 一男*	西村貞一*	大島長造*
	青井 隆*	森田豊成*	塩谷眞治*
	小中義博 ^①		
大阪平野	山田晶一	西田博司	
大阪本町	天方義邦	今岡真義	磯部明良
大阪イブニング	坪内敏剛*		
大阪城南	野中一彦*	梅崎道夫*	赤澤肇一*
	佐伯爲次*	成瀬俊昭	
大阪城東	片山雅和 ^①	小松 功*	田中信守 ^①
	住吉正敏 ^①	松矢浩司 ^①	桂 知良 ^①
	吉田長三 ^①	上西宏侑 ^①	中野憲城 ^①
大阪柏原	山本光勇*	関口 哲*	小路徹二*
	大橋秀樹*	青山峰数	田中義男 ^①
大阪北	樽谷清孝	村上保代	清水英明
	山本雅昭	河田一彦	廣田元孝
	吉矢生人	荒巻恭士*	飯田正弥*
	井上亮一*	木本武雄*	古野清賢*
	枅田圭児*	丸山雅祥*	荒井敬一郎*
大阪北梅田	箱田 隆*	橋本稔子	平澤久夫*
	中神秀明*	田辺嘉之*	寺岡龍彦*
大阪御堂筋	池原哲男	大西博孝	中川憲育
大阪南	井関一孝	木村信彦*	中北 清*
	奥村安正*	北所啓次郎	多田準二
大阪中之島	福田忠博	権野政雄	針谷紘一
	橋野雅彦	堀口利夫	犬飼直之
	岩上 順	幸川順一	前田隆司
	松本充弘	中道正伸	岡本 章
	下岡陽一郎	高野博行	高島凱夫
	梅原豊和	山本 肇	岡嶋 豊
	吉井 宏	井戸本泰次	細川国信
	小林俊明	渡辺哲秋	志水慶一
	永井俊行 ^①		
大阪難波	稲本忠志	飯田順雅*	笹岡宏造*
	入江 実 ^①		
大阪なにわ	田中壽秋 ^①		
大阪南西	河合公子*	城内悦代*	山本一雄
大阪西	廣瀬功直	岡 豪敏 ^①	
大阪大手前	黒木一夫	山岡桂造	臼井慶勝 ^①
大阪大淀	井原 厳*	松永昭男*	村岡正啓

大阪リバーサイド	延原久雄*	清水英文	出張誠治	中村幸盛*
	須永哲生*	神崎友次 ^①		
大阪咲洲	玉城晴孝	山本 誠	上田 剛	
	山村哲也	深川 譲		
大阪西北	宮本 一	富島俊治	近藤治郎*	
	田中潤治*	松村楠敏*	西村 暉*	
大阪西南	古里龍一*	井上良昭*	笠井文雄*	
	南光 優*	増田康次	村山廣甫	
	高谷晋介	田中康貴	福島亀吉 ^①	
	水谷 肇 ^①			
大阪船場	布袋要一郎	小山章松*	有村善雄*	
大阪心斎橋	早川謙一 ^①	倉田能達*	佐伯良一*	
	福西幸夫 ^①	鈴木務孝 ^①	米田文郎 ^①	
大阪城北	中山卓三	今井和男	西 正中 ^①	
	桑原 潔*	三木一之	中ツ泰一	
	熊倉勝敏	久岡敏博	立山澄夫 ^①	
大阪そねざき	村上恭豊	柳田恒明	首藤忠正	
	谷間庸子			
大阪住吉	高木美千子	櫻井恵子	蘭村克彦	
	横川美智子	下川淑子	村上憲一郎	
	石田清和喜	小室 甲	富家文雄 ^①	
大阪天満橋	郡 悦清*	小倉 裕*	坂本一民*	
	高田 肇*	川原和彦	奥 崇	
	三好三郎丸 ^①			
大阪東南	伊藤武定 ^①			
大阪鶴見	音在秀信*	中村善尚	浮舟邦彦*	
	岡田 彌*			
大阪梅田	佐野千代造*	土田喜和 ^①		
	吉田喜一郎 ^①			
大阪梅田東	後藤洋治	鍛冶正行	山本 紘	
大阪うつぼ	川橋 豊*	中西克巳*	奥山泰弘*	
千里	井上暎夫*	行村 純		
千里メイプル	相原正雄*	松田親男	村田純子	
摂津	疋田誠治郎	樋上幸夫	稲垣俊文	
	田中美春	辻井正房	横田 聡	
四條囃	木村慎一郎*	松村正毅*		
新大阪	花原昭弘*	松本圭右		
吹田	木田育伸*	木村雄次郎*	石井博章	
	稲本英治*	井上陽二*	矢橋繁雄*	
	大橋弘一	淀井満福	成尾紹雄 ^①	
吹田江坂	延 秀恵	内田 正	山崎陸治	
吹田西	山本隆一*	澤井正寛*	河邊哲郎*	
	尾家 亮*	松田道夫*	橋本 治*	
	村井正雄	田中慶一		
高槻	服部良治*	小宮山章二	村上正巳	
	白石俊廣			
豊中	矢野 昭	澤木政光*	古澤照明	
	畑田耕一 ^①			
豊中千里	雨森 健			
八尾	當内 斉*	正野 憲*	松村匡浩*	
	村本順三*	小山悦治*	木村義一*	
	西海元樹*	中島孝夫*	寺坂哲之*	
	小倉一幸*	田中純吉*	加藤 隆	
	小島美貴男	吉田義行	小林成禎	
	稲田明人	吉川鹿雄 ^①		
八尾中央	中井敬和	泉 寛治*	福家 宏*	

大会役員

ガバナー	井上 暎夫 (千里)
大会委員長	近藤 雅臣 (千里)
大会副委員長	川上 浩邦 (吹田)
	梶山 高志 (吹田西)
	芳賀 洋 (吹田江坂)
	光岡 史富 (千里メイプル)
	藤井 克彦 (千里)
大会幹事	川瀬甲子雄 (千里)
大会副幹事	西田 泰晤 (千里)
	井村 卓治 (吹田)
	宮川 藤一郎 (吹田西)
	西口 隆三 (吹田江坂)
大会 SAA	神前 俊彦 (千里)
大会副 SAA	田橋 賢士 (千里)
	黒川 彰夫 (千里メイプル)
大会会計	金子 薫 (千里)
ホストクラブ会長	岩崎 熙毅 (千里)
コ・ホストクラブ会長	光吉 聖 (吹田)
	栢本 義臣 (吹田西)
	田中 茂晴 (吹田江坂)
	長谷川 靖彦 (千里メイプル)
地区代表幹事	矢橋 弘嗣 (千里)

大会委員会

●信任状委員会

委員長	寺田 和之 (大阪)
委員	八田 昌三 (豊中南)
	飯田 正弥 (大阪北)
	山本 武男 (大阪東)
	平岡 龍人 (大阪)

●決議委員会

委員長	中川 章三 (大阪城南)
委員	光信 昌明 (大阪城南)
	矢橋 弘嗣 (千里)
	平川 恵一 (大阪北)

●選挙委員会

委員長	柏木 尚 (豊中)
-----	-----------

委員

青木 禎一郎 (豊中)
盛田 三五 (大阪東)
笹井 敏之 (大阪フレンド)
須崎 洋一 (東大阪東)

●表彰委員会

委員長	吉川 謹司 (東大阪東)
委員	斎藤 勝俊 (東大阪東)
	岡田 耕治 (東大阪東)
	横山 守雄 (大阪中央)
	小西 豊和 (守口)

大会実行委員会

実行委員長	近藤 雅臣
幹事	川瀬甲子雄

●総務委員会

委員長	西田 泰晤
副委員長	藤満 宣夫
委員	小谷 泰 金子 薫

●プログラム委員会

委員長	岩知道寿夫
副委員長	神前 俊彦 城野 政弘

●ソングリーダー委員会

委員長	坂口 治男
副委員長	行村 純

●SAA委員会

委員長	神前 俊彦
副委員長	田橋 賢士 黒川 彰夫*

●登録・受付委員会

委員長	寺井 明納
副委員長	熊谷 信昭 廣間 利隆
委員	西形 文孝 花房 嗣郎
	萬年 成泰 中谷 良恭
	仁村 泰治 吉村輝久雄
	村井 眞二 古澤 裕
	長井 伸一* 山下聰一郎*
	岸上 億則* 水谷 功*
	村田 純子*

*印は千里メイプル RC

●会場委員会

委員長 小谷 澄信
副委員長 門間 進
委員 真弓 忠範
新原 健市
畑崎 利明
作田 正義
高木 健

●接待委員会

委員長 北垣 次彦
副委員長 上橋 芳雄
委員 三浦 喜温
山田 実
山口 武典
稲邑 清也

●表彰委員会

委員長 粉川 雅至
副委員長 岡本 弘
委員 中井 利隆

●広報委員会

委員長 高野 久輝
副委員長 山口 克人

●記録委員会

委員長 的場 延雄
副委員長 羽田 祐三
委員 坂口 健
奥谷 英夫

●救護委員会

委員長 臼井 弘行
副委員長 木下 迪男

●会計委員会

委員長 金子 薫
副委員長 藤満 宣夫

●開会式・カバナー補佐座談会・部門別懇談会委員会
(吹田 RC)

委員長 川上 浩邦
副委員長 成尾 紹雄
委員 井上 義信
上本 博
有澤 潤
柳川 義行
井村 卓治
高津 昇
足立 善信
柴田 仁

●家族のつどい委員会

(吹田江坂 RC)

委員長 芳賀 洋
副委員長 西口 隆三
委員 西上 博幸
寺井 正昭
山崎 睦治
八橋 志夫
鳥辺 甚吉
金馬 隆仁

●RI 会長代理歓迎晩餐会委員会

(吹田西 RC)

委員長 梶山 高志
副委員長 新井 清
委員 大藤 辰弘
阪本 勝彦
瀧川 紀征
宮川藤一郎
栢本 義臣
渋谷 清明
由上 時善

ありし日のご活躍を偲び

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

2002 年 3 月 1 日 ~ 2002 年 12 月 31 日

平賀 正 (高 槻 東)	2002. 3. 26	安達 昌秀 (千 里)	2002. 8. 11
小俣 恒夫 (池 田)	2002. 3. 27	杉原 久明 (大阪天満橋)	2002. 8. 14
高橋 重光 (大 阪 南)	2002. 3. 29	保坂 康弘 (枚 方)	2002. 8. 17
米沢 三吾 (大 阪 東)	2002. 4. 13	佐々木卓三 (大 阪)	2002. 9. 12
青野 明 (交 野)	2002. 4. 13	細江 重 (大 阪 東 淀)	2002. 9. 15
入江 和夫 (高 槻)	2002. 4. 15	菅生清左衛門 (大 阪 南)	2002. 9. 21
奥野 實 (摂 津)	2002. 4. 22	小林 実 (大阪心斎橋)	2002. 10. 1
水島 秀人 (大 阪 堂 島)	2002. 4. 24	溝田 伍兵 (八 尾 中 央)	2002. 10. 10
永井 岑一 (枚 方)	2002. 5. 2	松平 重男 (枚 方)	2002. 10. 17
佐々木欽也 (大 阪)	2002. 5. 2	有井 秀夫 (茨 木 東)	2002. 10. 26
久保善九郎 (大阪天満橋)	2002. 5. 9	片山 雅和 (大 阪 城 東)	2002. 11. 8
山西嘉一郎 (東 大 阪 東)	2002. 5. 29	奥本 晋介 (大阪心斎橋)	2002. 11. 24
木田 正六 (吹 田)	2002. 5. 30	岡田 徳一 (八 尾 東)	2002. 11. 26
山田 秀雄 (大 阪 鶴 見)	2002. 6. 8	大庭 脩 (千里メイト)	2002. 11. 27
藤立 啓一 (大 阪 城 北)	2002. 6. 17	福田 清己 (池田くれは)	2002. 11. 28
岸 武良 (東 大 阪)	2002. 6. 21	荒井 誠一 (大 阪 梅 田)	2002. 12. 3
武田 忠昌 (大 阪 船 場)	2002. 6. 30	中村 醇三 (大 阪 西)	2002. 12. 14
内山 理 (大 阪 北)	2002. 7. 21	岡田 健一 (大阪心斎橋)	2002. 12. 25

国際ロータリー第2660地区 2002～2003年度地区大会[2003年5月9日～10日]

収 支 報 告 書

会 計

金子 董



会計監査

林 恭 造



〔収入の部〕

単位 円

科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	5,878,000	
地区大会資金	43,953,500	7,000*4,608名、1,250*4,646名、1,000*80名、 1,250*4,608名、1,000*50名
RI会長代理歓迎晩餐会登録料	6,140,000	20,000*307名〔一般会員、家族〕
雑収入	2,041,005	ご祝儀、オンツウ大阪登録料、ポリオプラス寄付、利息他
収入合計	58,012,505	

〔支出の部〕

区 分	科 目	金 額
総 務	印刷費	2,664,900
	会合費	1,867,214
	登録費	208,200
	記録誌費	4,363,000
	記念品費	660,000
	事務所費	4,137,407
	事後処理費	300,000
	計	14,200,721
本会議プログラム	舞台進行費	10,130,265
	会場費	4,340,130
	設営費	776,265
	出演者謝礼等	7,948,332
	計	23,194,992
接 待 費	一般接待費	1,076,085
	来賓招待者接待費	2,131,935
	計	3,208,020
歓迎晩餐会	エンターテイメント	752,000
	料理代	6,347,302
	設営費	713,580
	雑費	235,620
	計	8,048,502
家族のつどい	出演料	388,888
	設営費	990,360
	雑費	35,175
	計	1,414,423
ポリオプラス寄付金	2,000,000+69,556	2,069,556
バナー収納額(取付とも)	580,000	580,000
支出合計		52,716,214
差し引き余剰金		5,296,291

*上記余剰金は愛知万博の協力金(会員一人につき千円)に充当し、
残金は次年度地区資金に繰り入れる。

編 集 後 記

はじめに、2日間にわたっての地区大会を無事終えられたことは、関係各位皆様方のご尽力の賜物と心から感謝申し上げます。

過去の記録誌をいくつかあたって見ますと、年々カラー写真が多くなり、段々分厚くなり、見かけは豪華でも読む人は少なくなっているような声もちらほら聞こえてきている様です。今回は恐らく2660地区では初めてと思いますが、地区大会の記録誌をガバナー月信の特別号として発行させていただきました。

もちろん、2日間の地区大会の間に起こった事はすべて網羅したつもりです。記録誌としては、出来るだけ簡潔にし、軽くて持ち運びやすく、華美に走らず、経済性を考慮し、多くの方々にお読みいただけるように努力したつもりです。いろいろ不備な点、不満な点もあるでしょうがお許しを願いたいと思います。

今年度は記念講演等ではなく、ガバナー補佐の座談会で「変えたいロータリー」、部門別懇談会では「変えてはならないロータリー」について討論形式で行われ、今後のロータリーの進む方向を垣間見たような気がいたしました。RI会長代理千玄室氏は挨拶、現況報告で「看脚下、即ちもういちど原点に立ち返って足元を見直そう」と強調されました。

また、記念シンポジウムで山口良治監督は「ラグビーは1人ではなにもできない。15人が力を合わせてやるものである。人間も1人では何もできないし生きて行けない。いろいろな事に感動して、感謝の心で“ありがとう”と言える人になるように」と若者に強調されました。

東儀秀樹氏の記念コンサートでは、多数の一般聴衆も来場し、筆簞、笙などでひと時ではありますが、古代の幽玄の世界に浸ることができ、今年の地区大会は大いに盛会裏に終えることができました。

終わりに、今年度は大会経費を節減して2005年までに世界のポリオ撲滅のための募金として、RI会長代理千玄室氏を通じて寄付をさせていただきましたことをご報告申し上げます。

記録委員長 的 場 延 雄

平成15年6月30日発行（非売品）

発 行 千里ロータリークラブ
豊中市新千里東町2-1 D-1
「千里阪急ホテル」内

編 集 地区大会記録委員会



国際ロータリー第2660地区 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11トヤマビル東館6階 TEL.06-6264-2660 FAX.06-6264-2661
6F, TOYAMA BLDG. EAST, 1-5-11, AZUCHI-MACHI, CHUO-KU, OSAKA 541-0052, JAPAN
Phone 81-6-6264-2660 Fax 81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp